

年 報

— 令和 5 年度 —



No. 13

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

目 次

I	沿革	1
II	施設概要	
	1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）	2
III	教育普及等	
	1. 常設展示	3
	2. 企画展示	3
	3. 教育普及の実績	8
	4. 是川縄文の日	14
	5. 八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）	15
	6. 地域連携	15
	7. 調査研究	17
	8. 広報・情報発信	19
	9. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」	20
IV	埋蔵文化財調査等	
	1. 発掘調査事業概要	21
	2. 調査概要	25
	3. 発掘調査報告書	35
	4. 情報公開	35
	5. 是川遺跡美術工芸品保存修理事業	36
	6. 八戸市内遺跡出土鉄製品保存処理	36
	7. 埋蔵文化財活用活性化事業	36
V	史跡整備	
	1. 史跡是川石器時代遺跡第1期整備事業	37
	2. 史跡維持管理	37
VI	管理運営概要	
	1. 協議会等	39
	2. 日記抄	40
	3. 来館者利用状況	46
	4. 小中学校利用状況	47
	5. 資料利用状況	48
	6. 資料収蔵	52
	7. 予算概要	53
VII	組織・関係団体	
	1. 組織及び職員構成	54
	2. 八戸縄文保存協会	54
	3. 縄文是川ボランティア	55
	利用案内	56

I 沿革

是川縄文館は、市内の遺跡から出土した埋蔵文化財の積極的な公開・活用、適切な保存管理に努め、埋蔵文化財保護の重要性を伝えるため、埋蔵文化財センターとして平成 23 年（2011）に開館した。是川遺跡、風張 1 遺跡等の発掘成果をふまえた展示や体験交流等を通して、市民や来館者が地域文化の魅力を再発見し、誇りや愛着が感じられる郷土づくりに資することを基本理念としている。

- 昭和 32 年（1957） 「是川石器時代遺跡」国史跡指定。
- 昭和 36 年（1961） 泉山岩次郎氏、斐次郎氏兄弟から出土品の寄贈を受ける。
- 昭和 37 年（1962） 寄贈品のうち、中居遺跡出土品 633 点が重要文化財に指定。
- 昭和 38 年（1963） 「考古館」完成（9 月 30 日）。
- 昭和 49 年（1974） 「歴史民俗資料館」完成（3 月 30 日）。
- 昭和 50 年（1975） 「歴史民俗資料館」開館（5 月 10 日）。
- 平成 5 年（1993） 3 月 「縄文学習館」基本設計完成。 4 月 縄文学習館展示指導員会議実施。
5 月 建築予定地発掘調査実施（8 月終了）・地質調査完了。
6 月 映像展示ソフト製作委託実施。 7 月 建築実施設計完成。
8 月 展示実施設計完成。
- 平成 6 年（1994） 3 月 建築・設備・展示各工事完成。 6 月「縄文学習館」開館（6 月 24 日、八戸市博物館分館）。
- 平成 7 年（1995） 是川遺跡文化学習ゾーンオープン（2 月 22 日）。
- 平成 9 年（1997） 「是川縄文の里整備基本構想」を策定。
- 平成 15 年（2003） 「是川縄文の里整備検討委員会」を設置し、基本構想見直し。
- 平成 16 年（2004） 「是川縄文の里整備検討委員会」が（仮称）是川縄文博物館の建設に向けて建設計画等を検討。
史跡追加指定（史跡総面積 213,372.52㎡、遺跡全体の 56.74%）。
- 平成 17 年（2005） （仮称）是川縄文博物館の建設用地取得。
- 平成 18 年（2006） 施設の機能にあわせ（仮称）是川縄文館と改める。
プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計を実施。
実施設計を実施。
- 平成 19 年（2007） 造成工事を実施し、建設工事に着手。
- 平成 20 年（2008） 建設工事及び展示設備Ⅰ期工事を実施。
- 平成 21 年（2009） 展示設備Ⅱ期工事及び外構・駐車場工事を実施。
- 平成 22 年（2010）
- 平成 23 年（2011） 4 月 機構改革により縄文学習館が「八戸市博物館分館」から「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館」に所管替え。
5 月 「考古館」・「歴史民俗資料館」閉館、「縄文学習館」一時休館、縄文学習館展示等改修業務委託実施。
6 月 縄文学習館展示等改修業務委託完成。
中居遺跡出土品 330 点が重要文化財に追加指定（総数 963 点）。
7 月 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館開館（7 月 10 日）。
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例及び施行規則、組織等規則施行。
開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」開催（7 月 10 日～9 月 25 日）。
開館記念講演会「是川遺跡の現在と未来」開催（7 月 17 日）。
8 月 来館者 1 万人達成。※本館観覧者数
10 月 開館記念特別展「縄文至宝展」開催（10 月 15 日～11 月 13 日）。
- 平成 24 年（2012） 7 月 開館 1 周年行事開催（7 月 7 日～7 月 24 日）。 来館者 5 万人達成。※本館入館者総数
- 平成 25 年（2013） 10 月 史跡追加指定（史跡総面積 213,497㎡、遺跡全体の 56.78%）。
- 平成 26 年（2014） 6 月 来館者 10 万人達成。※本館入館者総数
- 平成 28 年（2016） 5 月 来館者 15 万人達成。※本館入館者総数
7 月 開館 5 周年行事開催（7 月 9 日～7 月 10 日）。
10 月 史跡追加指定（史跡総面積 219,009㎡、遺跡全体の 58.24%）。
- 平成 30 年（2018） 1 月 来館者 20 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 元年（2019） 3 月 「史跡は川石器時代遺跡第 1 期整備基本計画」を策定。
10 月 来館者 25 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 2 年（2020） 是川遺跡発掘 100 周年及び記念イベント開催。
7 月 整備工事のため「縄文学習館」休館。
11 月 「是川縄文の日」、「是川縄文普及月間」制定。
- 令和 3 年（2021） 7 月 開館 10 周年行事開催（7 月 10 日～7 月 11 日）。
「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録。（7 月 27 日）
- 令和 4 年（2022） 6 月 来館者 30 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 5 年（2023） 10 月 来館者 35 万人達成。※本館入館者総数

II 施設概要

1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
- 住所：青森県八戸市大字是川字横山 1

(2) 施設の概要

- 構造：1 階鉄筋コンクリート造+ 2 階鉄骨造
- 敷地面積：13,752.55㎡ ○建築面積：2,602.98㎡ ○延床面積：4,593.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株) 岡設計 ○展示基本・実施設計及び施工：(株) 丹青社

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1 階：2,408.19㎡ 2 階：2,185.63㎡

階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)
1F	体験交流室	142.8	1F	館長室 (応接室)	36.87	2F	図書閲覧コーナー	91.19
	アプローチ展示	229.53		事務室	79.12		研修室	62.12
	特別収蔵庫	139.49		会議室	51.12		調査記録保管室	39.78
	特別収蔵庫前室	22.70		スタッフルーム	46.51		書庫	133.42
	一般収蔵庫	473.06		器材庫	56.25		研究室	151.13
	荷解場	104.62	常設展示室	503.01	出土品整理室		143.47	
	保存科学室	55.90	国宝展示室	46.60	図面整理室		87.86	
	作業室	54.90	企画展示室	178.37	写真撮影室		41.66	
	ミュージアムショップ	78.59	展示準備室	81.94	ベビーコーナー		4.48	

○駐車場：普通車 86 台、大型バス 6 台、障がい者用 3 台 ○トイレ：2 か所（障がい者用含む、職員用除く）

(4) 建設事業費 ※総事業費：2,242,439 千円

- 基本・実施設計：87,740 千円 ○外構工事等：189,120 千円 ○本棟工事等：1,628,434 千円
- 器材庫建築工事等：50,012 千円 ○展示工事：287,133 千円



八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

III 教育普及等

1. 常設展示

常設展示は、直感的な手法では川遺跡を印象付け（右脳）、論理的な手法で詳しい解説を行う（左脳）、対比的なコンセプトとしており、「縄文の美と謎を探る」ことをテーマとしている。

導入部のイマージョン・シアターは、来館者に是川遺跡の特徴を印象付け、体験できるシアター空間。漆塗り遺物の赤と黒や縄文文様をテーマとする神秘的な「縄文への道」に続き、豊かな自然の中で植物を多様に利用したくらしを紹介する「縄文くらしシアター」で構成される。続く「縄文の美」は、「漆の美」「是川の美」「風張の美」の3コーナーからなり、縄文人が作り出した造形美をじっくりと鑑賞できる空間とした。

左脳ゾーンとなる「縄文の謎」では、是川中居遺跡の発掘現場から、調査研究成果として「環境」「くらし」「わざ」「漆文化の広がり」という4つのテーマから紹介している。

続く「最新研究報告」は、埋蔵文化財センターの調査・研究成果を更新しながら展示する常新展示を目指している。令和5年度は9月から第8回「新田城跡の発掘調査」を公開している。

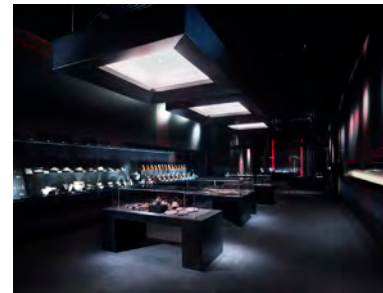
合掌土偶は「国宝展示室」の免震・密閉式展示ケースにて展示している。

1階アトリウムはガイダンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

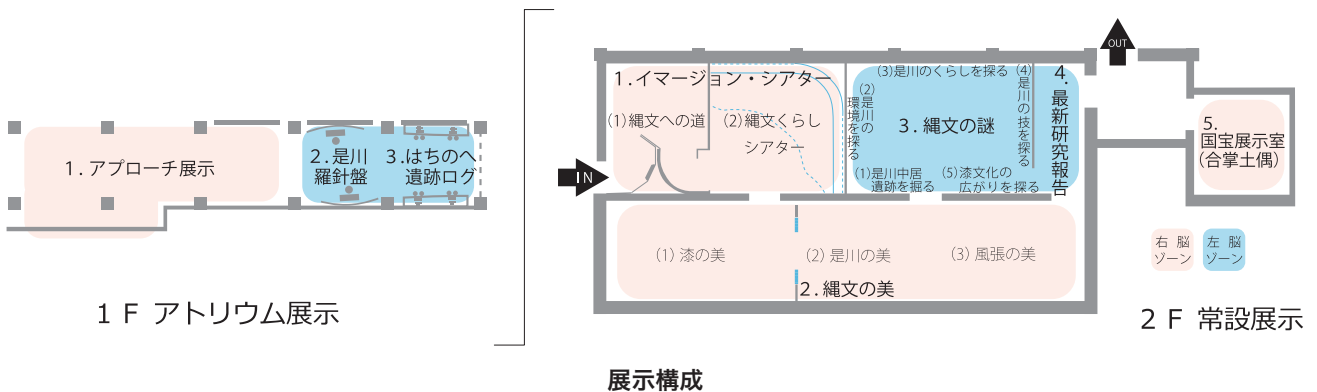
展示室	展示品	重要文化財	指定外	レプリカ	復元品	民俗資料
漆の美	41	41	-	-	-	-
是川の美	217	169	48	-	-	-
風張の美	203	203	-	-	-	-
縄文の謎	65	31	3	1	23	7
最新研究報告	24	-	24	-	-	-
国宝展示室	1	※国宝 1	-	-	-	-
計	551	445	75	1	23	7

常設展示品（令和5年度）

※考古資料のうち国指定重要文化財が占める割合は約8割



縄文の美



2. 企画展示

令和5年度は、昨年度から会期を延長した企画展「縄文・かたちの美—是川遺跡の皿形土器—」、特別展「北陸の晩期縄文文化」、秋季企画展「掘り day はちのへ—令和元年～令和4年度発掘資料展—」、冬季企画展「縄文・かたちの美—是川遺跡の土製品—」を開催した。

(1) 企画展「縄文・かたちの美—是川遺跡の皿形土器—」

開催期間 令和4年12月10日（土）～令和5年5月7日（日） 120日間
 観覧者数 3,215人（94人/日） ※令和5年4月1日から（34日間）
 展示資料数 51点
 主な展示品 皿形土器（中居遺跡）

(2) 特別展「北陸の晩期縄文文化」

開催期間 7月15日(土)～9月3日(日) 50日間

観覧者数 7,266名(145人/日)

展示資料数 112点

印刷物 ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)35,000枚 観覧券 8,000枚

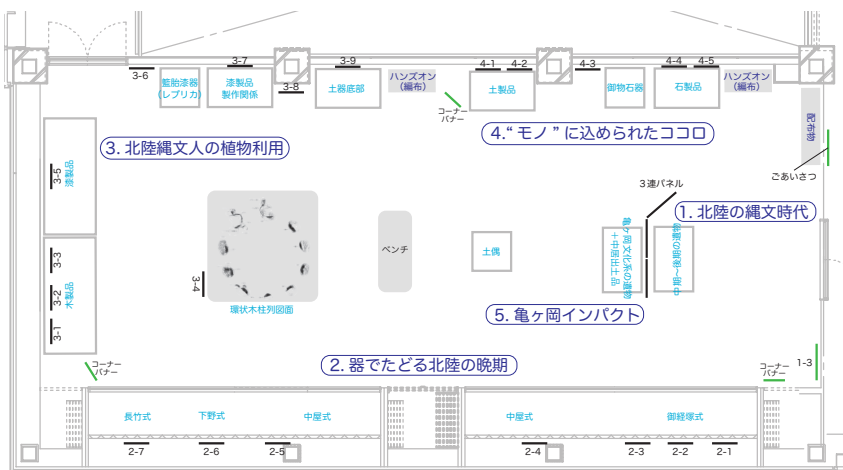
解説リーフレット(A3版)5,000枚 図録(A4版カラー100ページ)500部

主な展示品 大珠(北塚遺跡)、「の」字状石製品(三小牛ハツ遺跡)、深鉢形土器(御経塚遺跡・重要文化財)、鉢形土器(御経塚遺跡・重要文化財)、注口土器(御経塚遺跡・重要文化財)、浅鉢形土器(中屋サワ遺跡・重要文化財)、蓋形土器(中屋サワ遺跡・重要文化財)、木製容器(中屋サワ遺跡・重要文化財)、弓(中屋サワ遺跡・重要文化財)、漆塗り櫛(中屋サワ遺跡・重要文化財)、漆塗り櫛(米泉遺跡)、編布(米泉遺跡)、土偶(御経塚遺跡・重要文化財)、御物石器(御経塚遺跡)、勾玉(御経塚遺跡・重要文化財)ほか

併催行事 特別展ギャラリートーク 会期中土曜日(各1回)午後2時～ ※8/26は午前10時～
特別展考古学講座(→p9) 8/26 午後2時～

協力 文化庁、青森県教育委員会、(公財)石川県埋蔵文化財センター・金沢市・金沢市埋蔵文化財センター・野々市市教育委員会・野々市市ふるさと歴史館

是川遺跡に代表される縄文晩期に東北地方で広がっていた亀ヶ岡文化と、その周辺の比較展示シリーズの第2回。北陸地方の晩期縄文文化を取り上げ、石川県の資料を中心に、北陸の晩期縄文人のくらしや東北との交流について紹介した。



展示構成



特別展リーフレット



展示状況



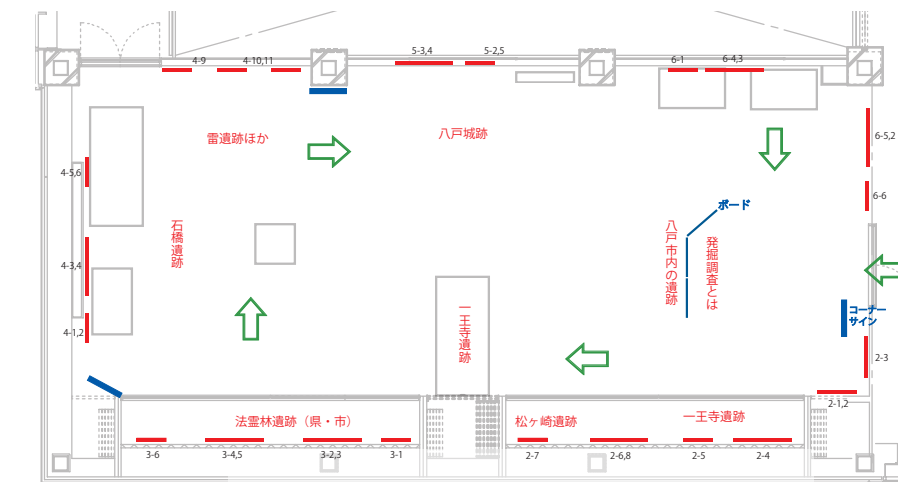
土偶(御経塚遺跡出土・重要文化財)

(3) 企画展「掘り day はちのへー令和元年～4 年度発掘資料展ー」

開催期間	令和 5 年 10 月 7 日 (土) ～令和 5 年 11 月 26 日 (日) 43 日間
観覧者数	5,442 名 (126 人/日)
展示資料数	155 点
印刷物	ポスター (B2 版) 500 枚 リーフレット (A4 版) 35,000 枚 解説リーフレット (A3 版) 5,000 枚
主な展示遺跡	松ヶ崎遺跡、一王寺遺跡、八戸城跡、酒美平遺跡、田面木遺跡、法霊林遺跡ほか、八戸市指定文化財「鬼瓦」
併催行事	企画展ギャラリートーク 会期中土曜日 (各 1 回) 午後 2 時～※ 11/12 は午前 10 時～、 企画展考古学講座 (→ p9) 10/9 午後 2 時、みんなで「土偶マイム」10/9 午前 10 時～、 土偶マイム 10/9 午前 11 時 30 分～、映画上映会「縄文にハマる人々」「掘る女」10/29、11/5
協力	青森県埋蔵文化財調査センター、八戸市博物館

八戸市には 491 箇所の遺跡が所在し、年間 50 件程度の発掘調査が実施されている。本展覧会では、令和元～4 年度に調査・整理した主要な遺跡の調査成果を速報展示した。

会場には八戸市内全域の遺跡地図を大きく設置し、市内の観覧者の自宅が遺跡に該当するかを答えるアンケートボードを置いたほか、市外の観覧者には独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が提供する文化財 GIS の QR コードを案内した。タブレット端末で操作可能な出土遺物の 3D データの展示や土偶マイム・映画上映会などの併催行事を行い、気軽に埋蔵文化財に触れられる機会の創出に努めた。



展示構成



企画展リーフレット



展示状況

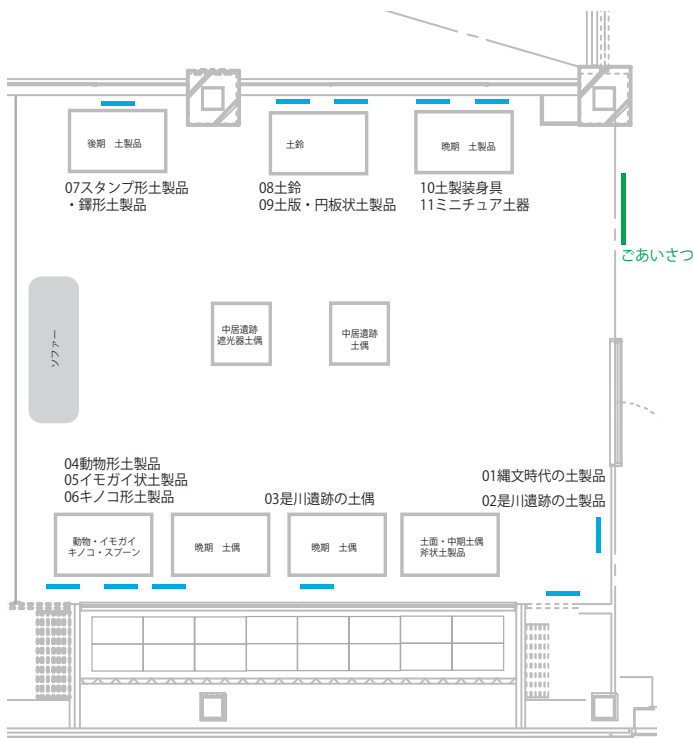


みんなで土偶マイム

(4) 冬季企画展「縄文・かたちの美 一是川遺跡の土製品一」

開催期間 令和5年12月16日(土)～令和6年5月6日(月) 116日間
 観覧者数 3,303人(39人/日) ※令和6年3月31日時点(83日間)
 展示資料数 95点
 主な展示品 一王寺遺跡、中居遺跡出土 土製品

是川発掘100周年を記念してスタートした、出土品を種類別に紹介するシリーズ企画第5回。是川遺跡で出土した土製品や土偶の形やデザインの多様さを展示。土偶をよく観察してもらうため、鏡や回転台を設置し、ぬりえシールの配布を行った。好評につき3月24日(日)までの会期を5月6日(月)まで延長した。



展示構成



冬季企画展ポスター



内覧会の様子



展示状況

開催年度	特別展・企画展	名 称	開催期間	日数	入館者数	人 / 日	資料数
平成 23 年	開館記念企画展	八戸の埋蔵文化財	7/10～9/25	77	19,245	275	222
平成 23 年	開館記念特別展	縄文至宝展	10/15～11/13	27	7,509	278	358
平成 24 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 23 年度発掘資料展～	4/28～6/24	53	6,632	125	56
平成 24 年	特別展	発掘された日本列島 2012 新発見考古速報	8/8～9/17	38	7,723	203	600
平成 24 年	秋季企画展	縄文のストーンサークル	10/13～11/25	39	3,037	77	169
平成 25 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 24 年度発掘資料展～	4/27～6/23	52	4,135	79	120
平成 25 年	特別展	みみずく土偶と縄文人-関東の晩期安行文化-	7/20～9/2	41	4,577	111	203
平成 25 年	秋季企画展	縄文時代の津軽半島	10/12～11/24	38	2,884	74	235
平成 26 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 25 年度発掘資料展～	4/26～6/22	52	3,630	69	138
平成 26 年	特別展	トーテムポールの人びと～漁労・狩猟採集民の暮らし～	8/1～9/15	42	5,364	128	115
平成 26 年	秋季企画展	海と火山と縄文人-是川縄文館・東京大学共同研究展示-	10/11～11/24	39	3,168	81	179
平成 27 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 26 年度発掘資料展～	4/26～6/22	51	4,477	88	190
平成 27 年	特別展	漆と縄文人	7/25～9/6	39	5,753	148	162
平成 27 年	秋季企画展	小川原湖周辺の縄文文化	10/10～11/23	39	3,782	97	221
平成 27 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真-	12/19～3/21	74	2,775	38	24
平成 28 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 27 年度発掘資料展～	4/29～6/26	52	4,532	88	190
平成 28 年	特別展	山の縄文世界-中部高地の縄文時代-	7/23～9/4	39	5,320	136	122
平成 28 年	秋季企画展	馬淵川流域の縄文時代	10/8～11/20	38	3,446	91	172
平成 28 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.2-	12/17～3/20	75	2,336	32	38
平成 29 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 28 年度発掘資料展～	4/29～6/25	52	4,187	80	138
平成 29 年	特別展	発掘された日本列島 2017 新発見考古速報	8/5～9/18	42	7,600	180	497
平成 29 年	地域展	八戸の土偶	8/5～9/18	42	-	-	467
平成 29 年	秋季企画展	是川縄文ムラを観る・描く-人と風と草木のものがたり-	10/14～11/26	38	2,653	69	112
平成 29 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.3-	12/16～3/21	75	1,948	25	43
平成 30 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 29 年度発掘資料展～	4/28～6/24	53	4,354	82	210
平成 30 年	特別展	海をわたる縄文人～津軽海峡文化圏の縄文～	7/21～9/2	43	5,440	126	215
平成 30 年	秋季企画展	どうぶつと縄文人	10/6～11/25	45	4,009	89	243
平成 30 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.4-	12/15～3/21	75	2,254	30	78
令和元年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 30 年度発掘資料展～	4/27～6/23	52	6,007	116	215
令和元年	特別展	北の縄文世界-北海道・北東北の縄文遺跡群-	7/20～9/8	50	7,055	141	174
令和元年	秋季企画展	山のいとなみ	10/5～11/24	44	3,425	78	158
令和元年	冬季企画展	是川遺跡の壺形土器	12/14～4/17	100	3,114	31	205
令和 2 年	夏季企画展	泉山兄弟と是川遺跡	7/18～9/6	50	3,069	61	210
令和 2 年	秋季企画展	白神山地の縄文	10/10～11/23	39	3,597	92	250
令和 2 年	冬季企画展	是川遺跡の注口土器	12/12～5/5	117	3,354	28	143

過去 13 年間の特別展・企画展一覧 (1)

開催年度	特別展・企画展	名 称	開催期間	日数	入館者数	人 / 日	資料数
令和 3 年	特別展	是川遺跡	7/10～8/31	51	5,910	115	271
令和 3 年	秋季企画展	装い-身を飾る人びと-	10/16～11/28	37	6,212	167	353
令和 3 年	冬季企画展	是川遺跡の鉢形土器	12/11～5/5	83	4,062	48	131
令和 4 年	特別展	行きかう土器とヒト	7/16～9/4	50	5,962	119	196
令和 4 年	秋季企画展	食と縄文人	10/8～11/20	38	4,994	131	337
令和 4 年	冬季企画展	縄文・かたちの美-是川遺跡の皿形土器-	12/10～5/7	120	6,817	56	51
令和 5 年	特別展	北陸の晩期縄文文化	7/15～9/3	50	7,266	145	112
令和 5 年	秋季企画展	掘り day はちのへー令和元年～令和 4 年度発掘資料展ー	10/7～11/26	43	5,442	126	155
令和 5 年	冬季企画展	縄文・かたちの美-是川遺跡の土製品-	12/16～3/31	83	3,303	39	95

過去 13 年間の特別展・企画展一覧 (2)

3. 教育普及の実績

前期考古学講座 (5 月～7 月) : 北陸地方の縄文文化

実 施	内 容	講 師	参加者 (人)
5/13 (土)	縄文時代における翡翠玉の製作と流通	長者ヶ原考古館 学芸員 木島勉 氏	66
6/17 (土)	日本海側最大級の貝塚 小竹貝塚	公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査課 副主幹 町田賢一 氏	52
7/8 (土)	新潟の晩期縄文文化ー低地のくらしと交流ー	公益財団法人富山新潟県埋蔵文化財調査事業団 調査課長 荒川隆史 氏	48
合 計			166

後期考古学講座 (12 月～2 月) : 縄文時代の土偶・土製品

実 施	内 容	講 師	参加者 (人)
12/16 (土)	遮光器土偶の流行学 ー考古学の編年で土偶の変化を明らかにするー	岩手県立博物館 学芸第三課長 金子昭彦 氏	44
1/20 (土)	青森県を中心とした縄文時代後半期の土製品について	青森市教育委員会事務局 文化遺産課 文化財保護チームリーダー・主幹 児玉大成 氏	45
2/10 (土)	円筒上層式土器に描かれた土偶の正体	公益財団法人滋賀県文化財保護協会 総務課企画室長 瀬口真司 氏	51
合 計			140

これかわ考古学クラブ

実 施	内 容	講 師	参加者 (人)
5/27 (土)	開講式	澁谷侑奈 (当館学芸員)	7
6/3 (土)	バックヤードツアー	菊地智慧・澁谷侑奈 (当館学芸員)	5
8/5 (土)	土器を分類してみよう	小久保拓也・落合美怜・菊地智慧・ 澁谷侑奈 (当館学芸員)	6
10/7 (土)	いろんな道具で文様をつけてみよう	澁谷侑奈 (当館学芸員)	5
12/2 (土)	貝で縄文アクセサリーをつくろう	菊地智慧・澁谷侑奈 (当館学芸員)	4
2/3 (土)	修了式	菊地智慧・澁谷侑奈 (当館学芸員)	6
合 計			33

特別展ギャラリートーク

実施	講師	参加者 (人)
7/15 (土)	佐藤ちひろ (当館学芸員)	9
7/22 (土)	佐藤ちひろ (当館学芸員)	12
7/29 (土)	佐藤ちひろ (当館学芸員)	13
8/5 (土)	佐藤ちひろ (当館学芸員)	6
8/12 (土)	佐藤ちひろ (当館学芸員)	8
8/19 (土)	佐藤ちひろ (当館学芸員)	21
8/26 (土)	小久保拓也 (当館学芸員)	13
9/2 (土)	佐藤ちひろ (当館学芸員)	15
合計		97

特別展考古学講座

実施	内容	講師	参加者 (人)
8/26 (土)	北陸の縄文時代の晩期について～巨大木柱と人びと～	(公財) 福島県文化振興財団 文化財副主査 布尾和史 氏	55
合計			55

縄文の布を編む講座

実施	内容	講師	参加者 (人)
9/2 (土)	解説「縄文の布について」	菊地智慧 (当館学芸員)	15
	実習「縄文の布を編む」	縄文是川ボランティア	
合計			15

縄文土器作り講座

実施	内容	講師	参加者 (人)
10/14 (土)	土器の準備と素地土作り	菊地智慧 (当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	17
10/21 (土)	土器作り	菊地智慧 (当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	18
3/23 (土)	縄文土器野焼き	落合美怜・菊地智慧・澁谷侑奈 (当館学芸員)・縄文是川ボランティア	23
合計			58

秋季企画展ギャラリートーク

実施	講師	参加者 (人)
10/7 (土)	船場昌子 (当館学芸員)	8
10/14 (土)	船場昌子 (当館学芸員)	4
10/21 (土)	澁谷侑奈 (当館学芸員)	6
10/28 (土)	澁谷侑奈 (当館学芸員)	3
11/3 (金・祝)	船場昌子・澁谷侑奈 (当館学芸員)	30
11/4 (土)	澁谷侑奈 (当館学芸員)	3
11/11 (土)	船場昌子 (当館学芸員)	4
11/18 (土)	澁谷侑奈 (当館学芸員)	4
11/25 (土)	小久保拓也 (当館学芸員)	1
合計		63

秋季企画展考古学講座

実施	内容	講師	参加者 (人)
10/9 (月・祝)	『土偶とは何か』の研究史	白鳥兄弟 氏	62
合計			62

遺跡調査報告会

実施	内 容	講 師	参加者 (人)
11/11 (土)	松ヶ崎遺跡	宇庭瑞穂 (当館学芸員)	60
	笹ノ沢 (4) 遺跡	上ノ山拓己 (当館学芸員)	
	法霊林遺跡	青森県埋蔵文化財調査センター 長谷川大旗 氏	
合 計			60

サポートスタッフ研修会 (5月～6月)

実施	内 容	講 師	参加者 (人)
5/20 (土)	オリエンテーション	菊地智慧 (当館学芸員)	24
5/27 (土)	是川遺跡について	菊地智慧 (当館学芸員)	18
6/10 (土)	常設展示解説	落合美怜 (当館学芸員)	26
6/23 (金)	博物館研修 (つがる市方面)	落合美怜・菊地智慧 (当館学芸員)	18
6/24 (土)	体験実習 (縄文土器作り)	菊地智慧 (当館学芸員)	18
7/1 (土)	AED 講習	八戸消防署員・ 菊地智慧・澁谷侑奈 (当館学芸員)	4
合 計			108

サポートスタッフ研修会 (1月～2月)

実施	内 容	講 師	参加者 (人)
1/13 (土)	オリエンテーション	菊地智慧 (当館学芸員)	24
1/27 (土)	体験実習 (火起こし・縄文土器拓本作り)	菊地智慧 (当館学芸員)	18
2/3 (土)	外部講師講座① 御所野縄文博物館出張体験	御所野縄文博物館 中市日女子 氏 木村由美子 氏	22
2/17 (土)	外部講師講座② 八戸の歴史について	八戸市文化財審議委員 工藤竹久 氏	21
2/23 (金・祝)	常設展展示解説	菊地智慧 (当館学芸員)	23
2/24 (土)	博物館研修 (野辺地・七戸・三沢)	菊地智慧・澁谷侑奈 (当館学芸員)	24
合 計			132

日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者 (人)
夏季前期：4/9 (日)～7/16 (日) 15回	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製ペンダント作り・勾玉作り・土器の文様拓本・縄文の布を編む	219
夏季後期：8/27 (日)～10/29 (日) 10回		165
冬 季：11/5 (日)～3/31 (日) 18回		288
合 計		672

※ 11/26、3/3 はイベント等のため日曜日縄文体験コーナー中止。

夏休み縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者 (人)
7/23 (日)～8/13 (日) 5回	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製ペンダント作り・勾玉作り・土器の文様拓本・縄文の布を編む	178
合 計		178

これかわ縄文まつり体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者 (人)
8/20 (日)	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製耳飾り作り・縄文の布を編む	182
合 計		182

是川縄文の日

実施	内 容	講 師	参加者 (人)
11/3 (金・祝)	学芸員と遺跡ツアー	小久保拓也・船場昌子 (当館学芸員)	30
	企画展ギャラリートーク	船場昌子・澁谷侑奈 (当館学芸員)	30
	滑石の勾玉作り	縄文是川ボランティア	97
	土面作り	縄文是川ボランティア	92
	土偶メガネ作り	縄文是川ボランティア	103
合 計			352

土曜体験教室

実施	内 容	講 師	参加者 (人)
4/29 (土)	滑石でペンダント作り教室	菊地智慧 (当館学芸員)	18
7/22 (土)	合掌土偶作り教室	落合美怜・菊地智慧・澁谷侑奈 (当館学芸員)	26
9/16 (土)	シカの角でペンダント作り教室	菊地智慧・澁谷侑奈 (当館学芸員)	19
11/18 (土)	トチの実で縄文クッキング	菊地智慧 (当館学芸員)	19
3/2 (土)	縄文土偶作り教室	菊地智慧 (当館学芸員)	18
合 計			100

是川遺跡クリーンデー

実施	内 容	参加者 (人)
8/19 (土)	熱中症警戒のため中止	-
10/27 (金)	是川縄文館・縄文学習館周辺の清掃	16
合 計		16

その他体験イベント

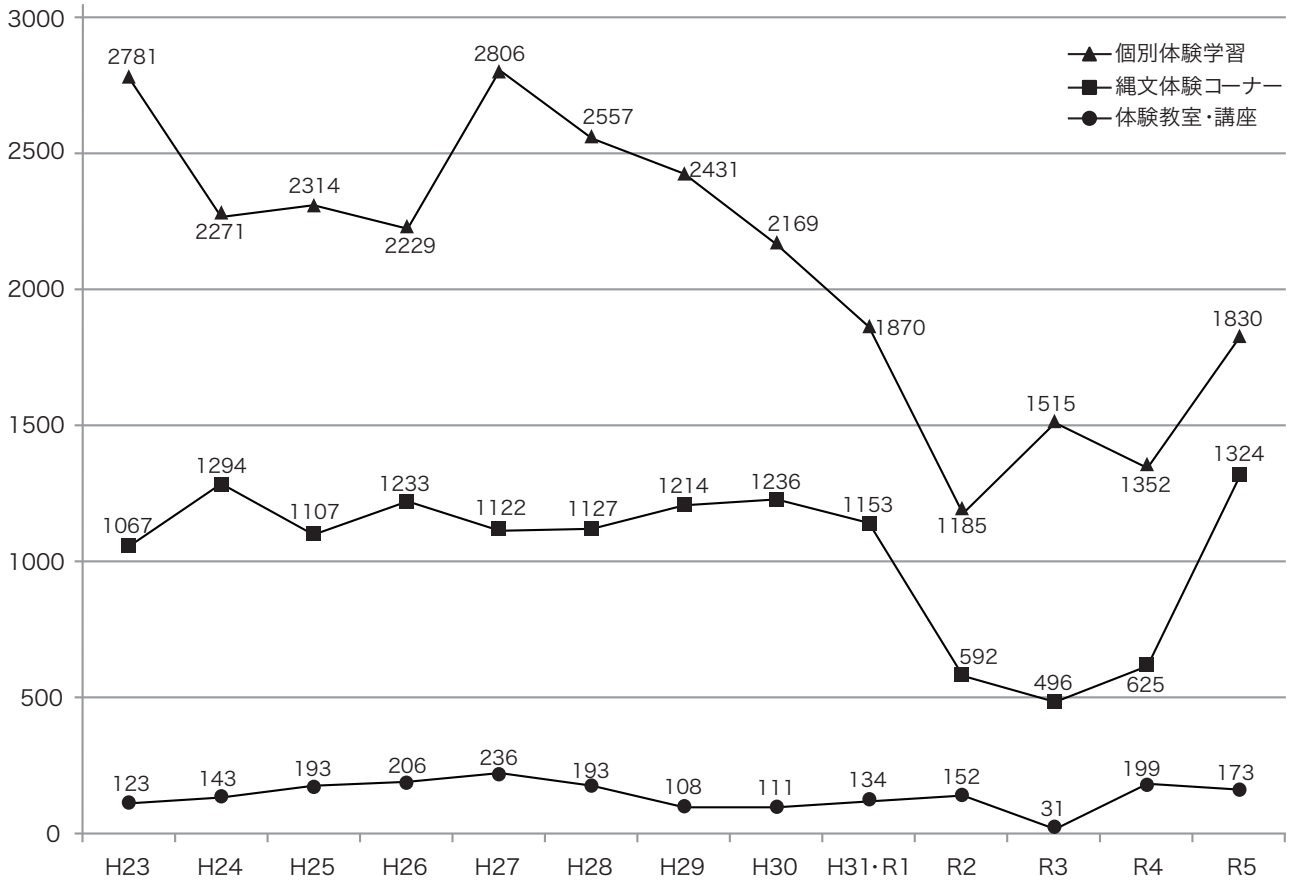
実施	内 容	講 師	参加者 (人)
10/9 (月・祝)	みんなで土偶マイム	白鳥兄弟氏	36
3/3 (日)	うるしングクッキーづくり	おかしあそび考古学研究所 ヤミラ氏	18
合 計			54

学芸員等による講話・授業 ※館内開催分。館外対応分は p18 (2) を参照されたい。

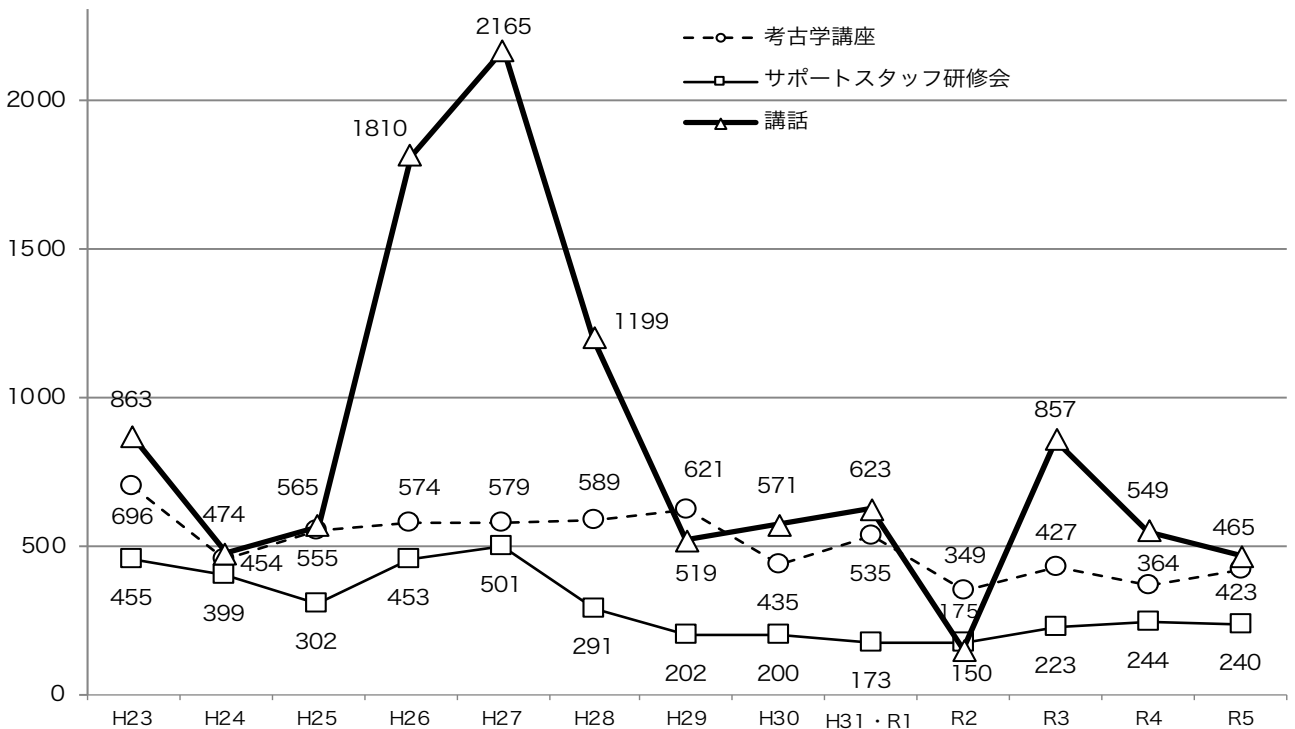
実施	内 容	講 師	団体・場所	参加者 (人)
8/18 (金)	是川小中学校研修「是川石器時代遺跡の魅力」	小久保拓也	是川小中学校 (於:是川縄文館)	21
10/13 (土)	講話「縄文時代と是川遺跡」	中村行宏	八戸市鷗盟大学 (於:是川縄文館)	24
10/20 (土)	講話「縄文時代と是川遺跡」	中村行宏	八戸市鷗盟大学 (於:是川縄文館)	34
11/25 (土)	面接授業「縄文土器作り」「縄文時代の漆文化」	小久保拓也	放送大学八戸サテライトスペース (於:是川縄文館)	27
11/25 (土)	面接授業『是川遺跡の縄文考古学』 「是川遺跡の出土品からわかる縄文工芸」	横山寛剛	放送大学八戸サテライトスペース (於:是川縄文館)	27
11/26 (日)	面接授業「世界遺産登録と北海道・北東北の縄文遺跡群」	小久保拓也	放送大学八戸サテライトスペース (於:是川縄文館)	27
11/26 (日)	面接授業『是川遺跡の縄文考古学』 「是川遺跡の立地と環境」 「晩期縄文文化と是川遺跡の社会」	横山寛剛	放送大学八戸サテライトスペース (於:是川縄文館)	27
1/20 (土)	ボランティア学習会「遺跡から見た古代蝦夷 (エミシ) の社会」	宇部則保	縄文是川ボランティア (於:是川縄文館)	15
合 計				202

ボランティアによる体験学習の指導 ※参加者数は、各団体来館者のうち実際の体験参加者（引率者等含む）の数を記載する

月日	体験内容	団体名	参加者	月日	体験内容	団体名	参加者
5/1	滑石の勾玉作り	五戸町立上市川小学校 6 学年	16	9/7	滑石の勾玉作り	八戸市立鮫中学校 1 学年	39
5/3	琥珀の勾玉作り	個人	4	9/8	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 5 学年	17
5/16	縄文土偶作り	鷗盟大学	5	9/12	縄文土偶作り	八戸市立是川小学校 6 学年	28
5/25	縄文土器作り	五戸町立倉石中学校 1 学年	19	9/15	縄文土偶作り	八戸市立是川小学校 2 学年	19
6/2	縄文土器作り	八戸市こども支援センター	7	9/20	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 3 学年	22
6/7	縄文土器作り	向陵高等学校 1～2 学年	33	9/22	滑石の勾玉作り	八戸市立城下小学校 6 学年	53
6/15	縄文土器作り	八戸聖ウルスラ学院高等学校 3 学年	4	9/26	土製ペンダント作り	八戸市立是川小学校 1 学年	15
6/24	縄文土器作り	サポートスタッフ研修会（縄文土器作り実習）	3	10/3	滑石の勾玉作り	階上町立道仏小学校 6 学年	12
6/27	縄文土器作り	八戸市立吹上小学校 6 学年	77	10/11	滑石の勾玉作り	【出前】八戸市立城北小学校 6 学年（於：八戸市立城北小学校）	69
6/30	滑石の勾玉作り	五戸町立五戸小学校 6 学年	61	10/20	土製ペンダント作り	三戸町立斗川小学校 5・6 学年	12
7/4	縄文土偶作り	鷗盟大学	19	10/21	滑石の勾玉作り	八戸市スポーツ振興課（苫小牧市アイスホッケーチーム）	17
7/5	滑石の勾玉作り	八戸市立白銀小学校 6 学年	37	10/31	編布	八戸市立是川小学校 4 学年	33
7/5	火起こし	久慈市立小袖小学校	12	11/10	滑石の勾玉作り	新郷村立新郷小学校 6 学年	11
7/6	滑石の勾玉作り	八戸市立三条小学校 6 学年	59	11/10	滑石の勾玉作り	八戸市立長者小学校 6 学年	62
7/7	滑石の勾玉作り	田子町立田子小学校 6 学年	35	11/16	滑石の勾玉作り	八戸市立白銀南小学校 6 学年	80
7/11	縄文土偶作り	鷗盟大学	23	11/16	滑石の勾玉作り	八戸市立柏崎小学校 6 学年	89
7/13	土製ペンダント作り	八戸市立中居林小学校 6 学年	59	11/17	火起こし	南部町立名川小学校 6 学年	41
7/14	縄文土偶作り	個人	2	11/25	縄文土器作り	令和 5 年度第 2 期面接授業放送大学	27
7/14	滑石の勾玉作り	吹上コープ委員会	14	11/29	火起こし	八戸広報連絡会	6
7/18	縄文土器作り	六戸町立七百中学校 1 学年	50	12/15	滑石の勾玉作り	八戸市立多賀台小学校 6 学年	32
7/19	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 4 学年	34	12/20	滑石の勾玉作り	青森県老人クラブ連合会	13
8/2	滑石の勾玉作り	鮫児童館	27	1/27	滑石の勾玉作り	喜久吉義塾スクール	17
8/8	滑石の勾玉作り	南部町スポーツ少年団	6	2/16	滑石の勾玉作り	八戸市立江陽小学校 6 学年	35
8/29	縄文土器作り	八戸市立根城小学校 6 学年	97	2/25	土面作り	【出前】八戸こどもフェスタ（於：八戸市公民館）	58
8/31	滑石の勾玉作り	階上町立赤保内小学校 6 学年	32	3/6	滑石の勾玉作り	八戸市立白鷗小学校 6 学年	49
9/1	滑石の勾玉作り	八戸市立明治中学校 1 学年	20	3/14	土製ペンダント作り	ソラーズ小学校 3 学年	80
9/1	滑石の勾玉作り	八戸市総合教育センター	17	3/16	火起こし	喜久吉義塾スクール	24
9/6	火起こし・滑石の勾玉作り	八戸市立高館小学校 5・6 学年	98	合 計			1,830



過去 13 年間の体験学習の利用者推移



過去 13 年間の講演会等の利用者推移

※サポートスタッフ研修会は平成 28 年度から開催回数減となっている。
 ※令和 3 年度の講話参加者数を訂正した（誤 331 → 正 857）。

4. 是川縄文の日

(1) 概要

泉山岩次郎・斐次郎兄弟による是川遺跡発掘100周年の節目となる令和2年に、毎年11月3日を「是川縄文の日」、毎年11月を「是川縄文普及月間」と定め、市民一人一人が、是川の縄文遺跡の価値や縄文文化の多様な魅力を理解するとともに、誇りを持つことができるよう、継続して市民に情報発信していくこととしたものである。

4年目にあたる令和5年は、体験を目当てにした来場者が多くみられた。開始前に行列をつくるほどの人数となり、全体の来場者数も昨年を上回る結果となった。

(2) 実施内容

○是川縄文の日

期 日 11月3日(金・祝) 9:00～17:00

来場者数 905人(令和4年:739人)

内 容 ①無料開放 ②記念品配布 ③学芸員と遺跡ツアー ④企画展ギャラリートーク ⑤滑石の勾玉作り ⑥土面作り ⑦土偶メガネ作り ⑧さわってみよう!縄文の道具 ⑨縄文パズル ⑩「是川縄文の日」スタンプラリー ⑪中居遺跡出土品人気投票 ⑫いのるん登場! ⑬コーヒー1杯無料サービス(これカフェ) ⑭縄文グッズ・スイーツ販売(千葉学園高等学校) ⑮野菜販売(是川新鮮あおぞら市)

○是川縄文普及月間

期 日 11月1日(水)～30日(木)

来場者数 3,597人(令和4年:3,354人)

内 容 ①秋季企画展「掘りdayはちのへ」(10/7～11/26) ②秋季企画展考古学講座 ③秋季企画展ギャラリートーク(期間中毎週土曜日) ④みんなで土偶マイム、土偶マイム ⑤映画上映会(縄文にハマる人々、掘る女) ⑥遺跡調査報告会 ⑦トチの実で縄文cooking ⑧日曜日縄文体験コーナー ⑨縄文土器野焼き(悪天候のため中止) ⑩第8回は川縄文の里俳句大会表彰式(八戸縄文保存協会)



是川縄文の日チラシ



遺跡ツアー



大人気のマスコットキャラクターいのるん



さわってみよう!縄文の道具コーナー

5. 八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）

平成 27 年度から八戸市教育委員会を中心に開始した連携事業。

「発見！ふるさと体験隊」（はっふる隊）という名称のもと、八戸圏域連携中枢都市圏（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）の小学校に年 1 回、貸切バスを無償で活用してもらえようにし、圏域内の文化・スポーツ施設での学外研修を支援する取り組みである。当館においても市内小学校を含め、圏域内の小学校から体験学習・展示見学で多く活用されるようになった。

令和 5 年度は、八戸市内 9 校 536 人、市外 4 校 90 人、計 626 人の児童の体験学習指導、展示解説に対応した。

月日	学校名	人数(人)
6/27	八戸市立吹上小学校	77
7/5	八戸市立白銀小学校	36
7/6	八戸市立三条小学校	55
7/7	田子町立田子小学校	34
8/29	八戸市立根城小学校	97
8/31	階上町立赤保内小学校	32
9/22	八戸市立城下小学校	53
10/3	階上町立道仏小学校	12
10/20	三戸町立斗川小学校	12
11/10	八戸市立長者小学校	62
11/16	八戸市立柏崎小学校	89
12/15	八戸市立多賀台小学校	32
2/16	八戸市立江陽小学校	35
計 13 校		626 人

令和 5 年度はっふる隊実績

6. 地域連携

○放送大学との連携

放送大学が教育課程に基づき、学習センター・サテライトスペースが所在する地域の大学等の機関と連携して、実地での面接授業を行う事業。

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペースとの連携により、是川遺跡及び是川縄文館を活用した2日間計8回にわたる面接授業を開講している。講義には、全国からは川遺跡や是川縄文館に関心をもつ受講生 27 人が集まり、感染症対策をとりつつ講義を実施した。

・講義内容

科目名：「是川遺跡の縄文考古学」（全8回）

第1回「日本考古学における研究方法の広がり」

第2回「縄文土器作り」

第3回「是川遺跡の立地と環境」

第4回「縄文時代の漆文化」

第5回「動物考古学からみた縄文時代の暮らし」

第6回「是川遺跡出土品からわかる縄文工芸」

第7回「晩期縄文文化と是川遺跡の社会」

第8回「世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」

日 時：11月25日（土）（第1回 - 第4回）、

11月26日（日）（第5回 - 第8回）

10：00～17：10

会 場：是川縄文館1F 体験交流室ほか

講 師：小久保 拓也（当館副参事）、

杉山 陽亮（社会教育課副参事）、

横山 寛剛（当館主査兼学芸員）



放送大学面接授業

○高校との連携

・八戸圏域高等学校地域活動促進事業への協力

世界遺産となった是川遺跡や縄文文化への関心を高めることを目的とした、千葉学園高等学校生徒による縄文グッズ・スイーツ制作及び販売。

縄文グッズ制作は、昨年度から引き続いてのもので、当館学芸員が縄文時代のファッションや文化について助言を行ったもの。生徒が制作した縄文グッズのうち、ヘアゴムは当館ミュージアムショップにて昨年7月から継続して販売を行っている。また、11月3日に開催した「是川縄文の日」には、限定品として土偶や土器の文様をモチーフとしたチャームとマドレーヌを販売するブースを提供した。

イベント開始から多くの人が立ち寄り、午前中のうちに完売となる盛況ぶりであった。

○北緯40°ナニヤトヤラ連邦会議漆産業振興専門部会との連携

日本一の生産量を誇る浄法寺漆を使ったワークショップや漆について学べるイベント「浄法寺漆×是川縄文～縄文時代と現代を繋ぐ漆～」を開催した。漆掻き職人や漆職人(塗師)が指導にあたり、好評であった。

- ・漆掻き体験
- ・木挽き体験
- ・漆蝋を使ったキャンドル作り

日時：11月4日(土)・5日(日)

会場：是川縄文館 屋外テント及び体験交流室

○是川小学校との連携

縄文時代の衣食住について各学年で是川縄文館を利用しながら調べ、発表を行った。

- ・3学年 「縄文時代の食について」
- ・4学年 「縄文時代の衣について」
- ・5学年 「縄文時代の住について」
- ・6学年 「世界遺産 北海道と北東北の縄文遺跡群について」

是川小学校との連携事業は次年度も継続予定。



「是川縄文の日」での販売の様子



土偶モチーフのマドレーヌ



漆イベント



カラムシ刈り体験の様子(是川小学校4学年)

7. 調査研究

(1) 共同研究

【第 4 期共同研究】

是川縄文館では、調査研究を主たる事業として掲げ、大学等の研究機関との共同研究事業を推進している。本事業により蓄積された質の高い研究成果を、館事業で公開活用することを目的としている。

第 1・2 期共同研究では、縄文時代における環境変動とそれに対する人の関わりについて研究を推進した。その成果から、環境変動に適応した縄文人の文化形成のプロセスや変遷の解明が課題として認識され、第 3 期では、火山ガラスからみた八戸地域における土器の変遷と地域間交流の解明についての共同研究を行った。

是川石器時代遺跡のうち、縄文時代晩期を中心とした集落である中居遺跡からは、植物質遺物や漆製品などが良い保存状態で出土する。これらの出土品のうち、藍胎漆器や編組製品の素材調達や製作に係る技術は、これまで課題としてきた地域間交流と深く関係していることが想定される。

こうした課題に取り組むため、縄文時代の編組・繊維製品の素材の同定や製作技法の解明に係る研究を進め、中居遺跡出土品を研究資料とする佐々木由香氏と協議を行い、令和 4 年度から共同研究を推進している。

本年度は、研究計画に基づき、藍胎漆器の X 線 CT 撮影及び構造解析、製作技法の検討、現生植物調査のほか、土器底部に残存する編組圧痕の調査、復元製作に向けたスズタケ採取調査を行った。また、企画展示に係る借用展示品の資料調査を実施した。最終年度に、共同研究の成果を企画展示において公開し、研究の総括論文を当館紀要に掲載する。

○共同研究テーマ 『編組技法からみた縄文時代の技術知の解明』

中居遺跡の藍胎漆器や繊維・編組製品の分析による、素材・製作技法の解明。

○研究期間 令和 4 (2022) 年 4 月～令和 7 (2025) 年 3 月 (3 ヶ年計画の 2 年目)

○研究体制 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 館長 中村行宏 (以下、職員)

金沢大学人間社会研究域附属古代文明・文化資源学研究所 特任准教授 佐々木 由香

○研究活動等

藍胎漆器、繊維製品、編組製品の樹脂包埋切片法およびデジタルマイクロスコープ観察による素材同定
 藍胎漆器の X 線 CT 撮影及び構造解析による製作技法の解明
 是川地区を中心とした繊維・植物製品素材の現生植物調査
 編組製品の復元製作による技術知の解明

(2) 学芸員の研究等業績：令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

【論文等】

- 令和 5 年 4 月 小久保拓也 「植物と土偶を巡る考古対談」『土偶を読むを読む』文学通信
 令和 5 年 4 月 小久保拓也 「是川遺跡の漆器と遺跡形成」『縄文の漆と社会』雄山閣
 令和 5 年 10 月 佐藤ちひろ 令和 5 年度特別展図録『北陸の晩期縄文文化』
 令和 6 年 3 月 小久保拓也（共著）「中居遺跡出土の編組製品の素材植物種」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要』13 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
 令和 6 年 3 月 落合美怜（共著）「是川遺跡出土の土器底部敷物圧痕からみた編組技法について」同上

【学会報告】

- 令和 5 年 6 月 宇庭瑞穂 青森県考古学会春季大会研究発表「史跡是川石器時代遺跡一王寺遺跡発掘調査報告」三内丸山遺跡センター
 令和 5 年 11 月 宇部則保 国立歴史民俗博物館 2023 年度第 3 回研究会『交流・環境からみたオホーツク文化・擦文文化・アイヌ文化 - その成立・展開過程 -』「北東北太平洋側（八戸地域）の古代集落・土器の成立と展開」おいらせ阿光坊古墳館
 令和 5 年 12 月 宇庭瑞穂 あおもり発掘フェア 2023 発掘調査成果報告「八戸市松ヶ崎遺跡」青森県総合社会教育センター
 令和 6 年 3 月 宇部則保 第 13 回北海道大学埋蔵文化財調査センター調査成果報告「青森県における北大式と土師器の関係」北海道大学学術交流館

【講話】

実施	内 容	講 師	会 場	参加者 (人)
7/1 (土)	地域の歴史講話「是川石器時代遺跡」	小久保 拓也	是川公民館	20
9/20 (水)	公民館講座「縄文文化について知ろう！」	落合 美怜	上長公民館	18
9/20 (水)	南浜の文化財を学ぶ	横山 寛剛	南浜公民館	5
11/8 (水)	世界遺産 是川石器時代遺跡	小久保 拓也 船場 昌子 落合 美怜 佐藤 ちひろ 菊地 智慧 澁谷 侑奈	八戸市立是川中学校	61
11/10 (金)	十和田奥入瀬観光認定ガイド養成講座 「世界遺産について」	小久保 拓也	三本木農業恵拓高校	43
11/16 (木)	歴史講座「世界遺産 是川石器時代遺跡」	佐藤 ちひろ	根岸公民館	10
11/25 (土)	長七谷地貝塚-縄文海進期の八戸-	船場 昌子	千歳市北ガス文化ホール	25
12/18 (月)	地域文化論講座「是川遺跡の保存と活用」	小久保 拓也	是川公民館	21
2/27 (火)	市民学習講演会 2024「北奥羽のエミシ社会」	宇部 則保	八戸市スポーツ研修センター	60
合 計				263

【他機関への指導・協力】

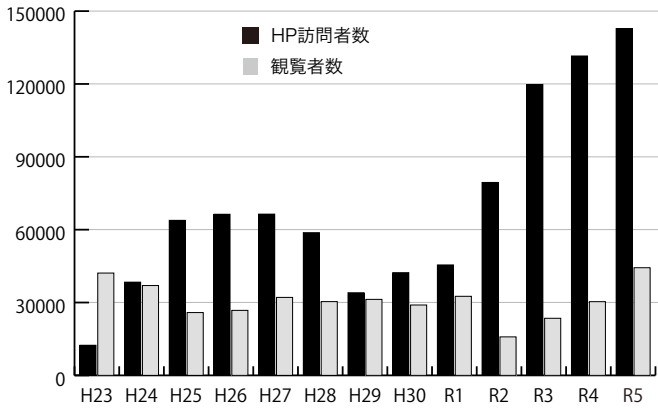
- 令和 6 年 3 月 14 日 宇部則保 令和 5 年度第 1 回高地性集落悉皆調査指導委員会 岩手県教育委員会

8. 広報・情報発信

館事業の広報及び情報発信事業を下記のとおり行った。

(1) ホームページ

インターネットを利用した広報・情報発信としてホームページを開設している。各職員によるコンテンツの更新が簡便にできるよう、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を使用し、管理を外部委託している。ホームページ訪問者数は前年より増加し、1日あたりの平均訪問者数は389.9人（令和5年4月～令和6年3月まで）であった。



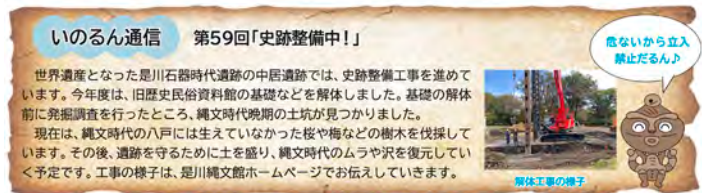
月	HP訪問者数	観覧者数	更新回数	平均(人/日)	英語版HP
4	10,371	3,298	4	345.7	24
5	12,221	4,121	3	394.2	28
6	12,426	4,099	8	414.2	63
7	15,479	4,480	9	499.3	12
8	18,999	5,382	10	612.8	47
9	14,250	4,475	5	475.0	181
10	12,934	3,932	7	417.2	74
11	11,943	3,505	14	398.1	102
12	6,831	2,316	6	220.3	93
1	9,258	2,793	2	298.6	99
2	9,203	3,041	7	317.3	167
3	8,883	2,891	4	286.5	121
計	142,798	44,333	79	389.9	1,011

ホームページ訪問者数と更新回数

(2) 広報はちのへ「いのるん通信」

是川縄文館の最新情報のPRとともに、体験学習や発掘調査等の活動の参加者へインタビューし、内容を紹介する、是川縄文館の魅力を伝える連載記事。市広報誌「広報はちのへ」において隔月連載（5・9・1月号）。99,000部発行。令和5年度をもって休止となった。

- 5月号：第60回「サポートスタッフ研修会」
- 9月号：第61回「発掘レポート 松ヶ崎遺跡」
- 1月号：第62回「是川縄文の日」



いのるん通信（第59回）

(3) 新聞記事

企画展をテーマとした連載記事を職員等が作成し、開催時期に合わせてデーリー東北新聞に掲載した。冬季企画展 2/2、2/9、2/16の3回

(4) 広告掲載

企画展や是川縄文館をPRするために、地元新聞等に広告を掲載した。

- ・特別展「北陸の晩期縄文文化」開催案内広告
 - デーリー東北新聞社（7/12・7/31）
 - 東奥日報社
 - 情報羅針盤コンパス（7/7）
 - 北東北3紙観光企画特集（7/15）
 - 八戸三社大祭企画（7/31）
- ・秋季企画展「掘り day はちのへー令和元年～令和4年度発掘資料展」開催案内広告
 - デーリー東北新聞社（10/5・10/15）
 - 東奥日報社



デーリー東北連載記事

北東北3紙観光企画特集 (9/30)

菊まつり企画 (10/27)

情報羅針盤コンパス (11/10)

(5) BeFM「施設ガイド」

地元コミュニティラジオの施設ガイドで、是川縄文館のイベント情報について紹介した(2か月に1度)。

(6) 図録等刊行

研究紀要のほか、企画展図録等を下記のとおり刊行した。

図録は館内ミュージアムショップで販売している。

- ・「掘り day はちのへー八戸市埋蔵文化財ニュース」第26号 A4版カラー 8ページ
- ・特別展「北陸の晩期縄文文化」A4版カラー 94ページ
- ・「研究紀要」第13号 A4版カラー 33ページ
- ・社会科副読本「八戸発見ブック 世界遺産になった! 是川石器時代遺跡」A5版カラー 16ページ



特別展図録「北陸の晩期縄文文化」

(7) SNS 運用

X(旧Twitter)で3月15日から、是川縄文館公式アカウントとして「いのるん【公式】@inorun_korekawa」の運用を開始し、イベントや館内情報を発信している。

9. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

(1) ミュージアムショップ

国宝「合掌土偶」をデザインしたグッズ、アクセサリー、お菓子のほか、縄文時代をテーマとしたグッズ等を多数販売している。この中には是川縄文館で展示解説や体験学習指導を行っている縄文是川ボランティアが製作した土器や土偶のレプリカも含まれている。また、一般書店では販売していない当館の常設展示図録や特別展等の図録なども販売している。令和5年度は、合掌土偶と頬杖土偶の亚克力スタンドなどを新たに追加し、商品のさらなる充実を図った。また、千葉学園高等学校生徒が制作した縄文グッズのうちヘアゴムとブローチを昨年度より継続して販売している。



新発売グッズ

【商品一例】

ポストカード、マグカップ、キーホルダー、ストラップ、Tシャツ、当館キャラクター「いのるん」グッズ、土器及び土偶等のレプリカ、お菓子(クッキー、人形焼、せんべいなど)、当館刊行物、考古学関連書籍等。

(2) 喫茶コーナー

縄文時代に食されていたと考えられるドングリを使用した「縄文らーめん」のほか、栗と南部せんべいをトッピングした「縄文ソフトクリーム」等を提供している。「これカフェ」の運営は、八戸縄文保存協会が行っている。

IV 埋蔵文化財調査等

1. 発掘調査事業概要

八戸市には、491 か所の周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡）が存在する。遺跡内で開発行為を行う場合、文化財保護法 93 条（国又は地方公共団体等が開発主体の場合、同 94 条）が適用され、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、工事着手の 60 日前までに遺跡内の工事に係る届出（通知）書の提出が必要となる。受理された届出により、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、まず遺跡の現状を把握し、必要に応じて試掘調査を行う。試掘調査の結果、開発行為により遺跡が破壊されると判断した場合、本発掘調査により遺跡を記録保存するなどの保護処置をとっている。

また、開発行為が行われる対象地が遺跡の範囲外であっても、遺跡に隣接する場合または掘削が広範囲に及ぶ場合は文化財保護法 99 条に基づき、遺跡の範囲確認のための試掘調査（範囲確認調査）を行うことがある。調査の結果、開発対象地で遺構・遺物が発見された場合、遺跡の範囲変更または新規の遺跡登録を行っている。

ただし、開発行為による掘削範囲が狭小であり、地下への影響が軽微であると判断される場合、事前の試掘調査を行わず、工事立会で対応する場合がある。

八戸市内には長七谷地貝塚・是川石器時代遺跡・丹後平古墳群・根城跡の 4 か所の国指定史跡がある。開発行為がこれら指定地内で行われる場合、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。申請を受け、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、開発行為による史跡指定地の地下遺構への影響を判断するため、遺構の有無や遺構検出面までの堆積状況を把握するための確認調査を行っている。なお、史跡指定地内においては軽微な開発行為であっても、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。

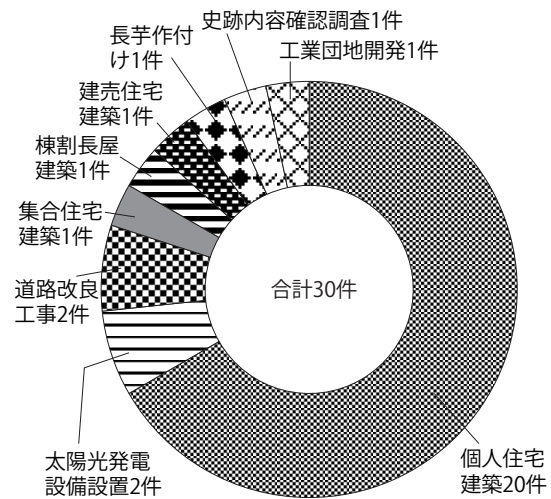
(1) 令和 5 年度の発掘調査

令和 5 年度は、22 か所の遺跡で計 30 件の発掘調査を実施した。調査種類の内訳は試掘調査 21 件、本発掘調査 8 件、重要遺跡の内容確認調査 1 件である。

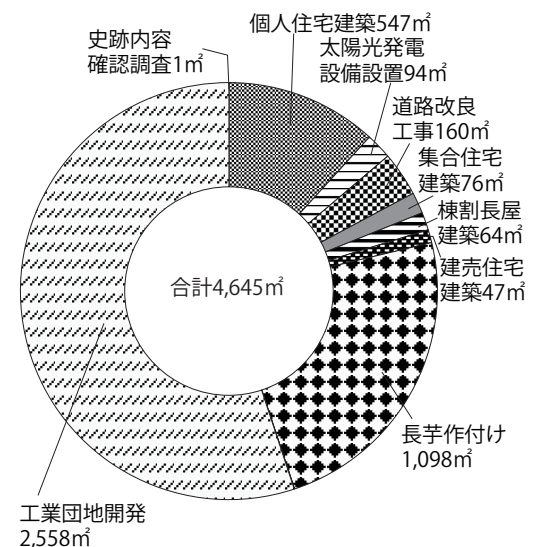
調査原因の種類別では、個人住宅建築 20 件、太陽光発電設備設置 2 件、道路改良工事 2 件、棟割長屋建築・集合住宅建築・建売住宅建築・長芋作付け・工業団地建設関連各 1 件である。

発掘調査の件数は、個人住宅建築に伴うものが最も多く、全体の 58% を占める。工業団地開発がそれに次ぎ 11% で、個人住宅建築と合わせると全件数の約 7 割である。

調査面積では工業団地開発が最も多く、長芋作付けがこれに次ぐ。工業団地開発の本調査だけでも約 85% を占める。



令和 5 年度調査原因ごとの発掘件数内訳



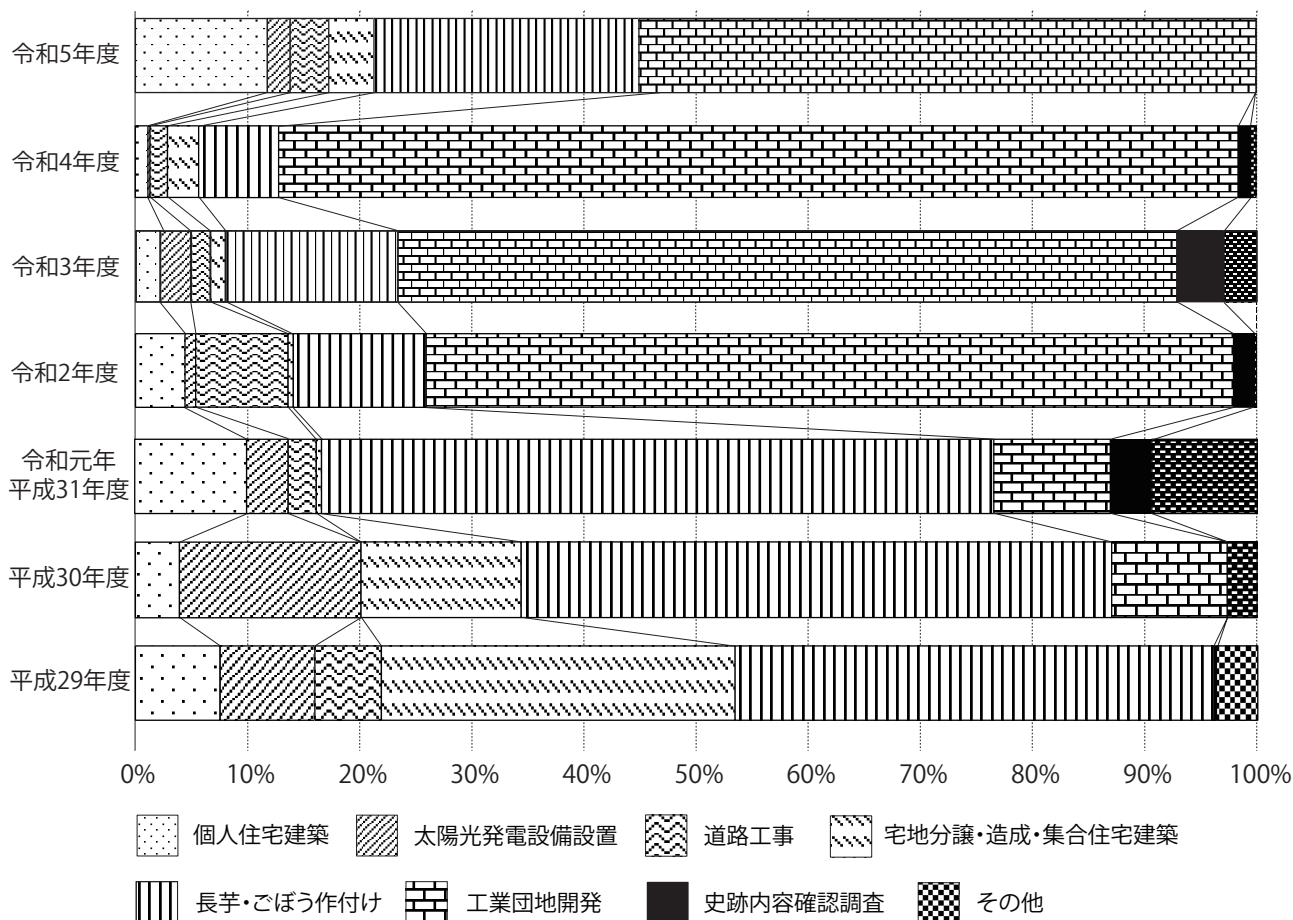
令和 5 年度調査原因ごとの調査面積内訳

(2) 過年度との比較

令和 5 年度は令和 4 年度と比べて、調査件数は約 30% 減少した。特定の調査原因が減少したのではなく、全体的に埋蔵文化財包蔵地に係る開発が少なかったためと思われる。さらに、調査面積は 85% 減となった。これは、これまで実施してきた八戸北インター第 2 工業団地建設の大規模な本調査がほぼ終了し、令和 5 年度は本発掘調査が 1 件のみであったことによる。本事業による発掘調査は令和 5 年度で全て終了し、令和 2 年度からの調査成果をまとめた発掘調査報告書を刊行する予定である。

調査原因	平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度・令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
個人住宅建築	21	392	21	276	33	1,086	27	783	20	292	25	346	20	547
太陽光発電設備設置	3	438	10	1,146	9	401	5	170	4	369	1	64	2	94
道路工事	1	308	0	0	1	270	1	1,464	2	237	1	480	2	160
宅地分譲・造成、集合住宅・建売住宅建築	2	1,636	4	1,010	2	51	2	80	4	178	5	854	3	187
長芋・ごぼう作付	2	2,215	7	3,722	3	6,480	2	2,103	2	2,077	1	2,200	1	1,098
工業団地開発	0	0	1	731	1	1,123	2	10,447	5	9,371	5	26,366	1	2,558
史跡内容確認調査	1	10	0	0	1	400	1	328	1	564	1	340	1	1
その他	8	190	12	2,760	6	1,015	2	32	4	413	4	149	0	0
合計	38	5,189	55	9,645	56	10,826	42	15,407	42	13,501	43	30,799	30	4,645

平成 29 ~令和 5 年度の調査原因件数と調査面積の内訳



平成 29 ~令和 5 年度の調査原因ごとの調査面積の推移



令和 5 年度八戸市内発掘調査位置図 (S : 12 万分の 1)

No	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	種別/主な時代
1	細越遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和5年4月4・5日	14.80	散布地/奈良・平安
2	熊野堂遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和5年4月12～14日	53.50	集落跡/縄文・奈良・平安
3	坂中遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和5年4月17日	8.00	散布地/縄文・奈良・平安
4	沢ノ上遺跡① /第2地点	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和5年4月24～27日	76.00	集落跡/弥生・奈良・平安
5	市子林遺跡①	試掘調査	棟割長屋建築	令和5年4月26～28日	64.00	集落跡/縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
6	盲堤沢(3)遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和5年6月5日	12.00	集落跡/縄文
7	弥次郎窪遺跡① /第1地点	試掘調査	個人住宅建築	令和5年7月3・4日	23.00	集落跡/縄文、弥生、平安
8	八戸城跡	試掘調査	個人住宅建築	令和5年7月10・11日	10.00	城館跡/縄文・弥生・古墳・近世・近代
9	帽子屋敷貝塚 隣接地	試掘調査	個人住宅建築	令和5年7月24日	16.50	貝塚/縄文
10	新井田古館遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和5年9月25・26日	17.00	集落跡・城館跡/縄文、奈良、平安、中世、近世
11	田面木遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和5年10月13日	0.50	散布地・集落跡/縄文・弥生・奈良・平安
12	山内遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和5年10月23日	8.00	散布地/縄文・平安
13	市子林遺跡②	試掘調査	集合住宅建築	令和5年10月26・27日	76.00	集落跡/縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
14	骨沢(1)遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和5年12月1日	18.00	貝塚/縄文
15	館平遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和5年11月8日	12.00	集落跡・城館跡/縄文・平安・中世
16	糠塚遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和5年11月22日	6.00	散布地/縄文
17	熊野堂遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和5年12月2日	12.00	集落跡/縄文・奈良・平安
18	重地遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和5年12月21日	21.00	集落跡/縄文
19	千石屋敷遺跡 隣接地	試掘調査	個人住宅建築	令和5年12月22日	12.00	散布地・集落跡/縄文・奈良・平安・中世・近世
20	松長根遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和6年3月13日～15日	12.00	散布地/縄文
21	塩入遺跡	試掘調査	個人住宅建築	令和6年3月22日	1.00	散布地/縄文・平安
22	細越遺跡 第2地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和5年4月27日 ～5月31日	120.00	散布地/奈良・平安
23	熊野堂遺跡 第8地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和5年5月8～25日	104.00	集落跡/縄文・奈良・平安
24	新井田古館遺跡 第36地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和5年10月24～31日	83.40	集落跡・城館跡/縄文、奈良、平安、中世、近世
25	熊野堂遺跡 第9地点	本発掘調査	建売住宅建築	令和5年12月19～21日	47.00	集落跡/縄文・奈良・平安
26	松ヶ崎遺跡 第11地点	本発掘調査	長芋作付け	令和5年4月14日～12月6日、 令和6年3月5日～27日	1,098.00	集落跡・貝塚/縄文・奈良・平安
27	中居遺跡	確認調査	現状変更判断 (電柱移設・新設)	令和6年2月14日	1.47	集落跡/縄文
28	笹ノ沢(4)遺跡	本発掘調査	工業団地開発	令和5年4月4日 ～6月30日	2,558.00	縄文・平安/散布地
29	八戸城跡 第55地点	本発掘調査	道路改良工事	令和5年9月4日 ～10月24日	60.00	城館跡/縄文・弥生・古墳・近世・近代
30	八戸城跡 第54地点	本発掘調査	道路改良工事	令和5年10月16日 ～30日	100.00	城館跡/縄文・弥生・古墳・近世・近代

令和5年度八戸市内遺跡発掘調査一覧

2. 調査概要

(1) 主な試掘調査

① 弥次郎窪遺跡 1 地点 (p24-No.7)

調査地：八戸市大字十日市字登手 1 番 5

担当職員：横山 寛剛

検出遺構：土坑

出土遺物：縄文土器、石器

調査概要：

ア．遺跡の概要

本遺跡は、新井田川と松館川に挟まれた標高 20～45m の緩斜面に立地する。

イ．調査に至る経緯

調査原因は個人住宅建築に伴うもので、文化財保護法第 93 条第 1 項に基づき、届出が令和 5 年 5 月 23 日付けで八戸市教育委員会に提出された。これを受けて令和 5 年 7 月 3・4 日に試掘調査を実施した。調査面積は 23㎡である。

ウ．調査成果

1 トレンチから縄文時代のフラスコ状土坑が検出された。土坑は出土遺物と過去の調査成果から、縄文時代後期初頭～前葉かそれ以前に帰属するものとみられる。

(2) 本発掘調査

① 笹ノ沢 (4) 遺跡 (p24-No.28)

調査地：八戸市大字尻内町字笹ノ沢 79 の一部、80 の一部、81 の一部

担当職員：上ノ山 拓己

検出遺構：竪穴建物跡、掘立柱建物跡、土坑、溝跡、溝状土坑

出土遺物：土師器、土製品、石器、石製品

調査概要：

ア．遺跡の概要

笹ノ沢 (4) 遺跡は、八戸市中心部から北西約 5.5km の、浅水川と五戸川に挟まれた標高 70 m 前後の丘陵に立地し、馬淵川へと合流する沢頭の周辺に位置する。

イ．調査に至る経緯

本地点は遺跡の中央部に位置し、北と南に傾斜する馬の背状の台地に立地する。地番は八戸市大字尻内町字笹ノ沢八戸市大字尻内町字笹ノ沢 79 の一部、80 の一部、81 の一部で、調査前は畑地であった。工業団地開発に伴い、平成 30 年 8 月 20 日付けで文化財保護法第 94 条第 1 項に基づく通知が八



弥次郎窪遺跡第 1 地点 1 トレンチ (写真下が土坑)



弥次郎窪遺跡第 1 地点 土坑完掘状況

戸市教育委員会に提出された。通知を受けて埋蔵文化財の確認調査を実施した結果、竪穴建物跡などを検出したため、確認調査の結果をもとに原因者と協議したところ、本発掘調査を行うことで合意したため、令和 4 年度と令和 5 年度で本発掘調査を実施した。

令和 5 年度の調査期間は令和 5 年 4 月 4 日から 6 月 30 日まで、調査面積は 2,558㎡である。

ウ．検出遺構

【縄文時代】土坑 1 基、溝状土坑 21 基

【古代】竪穴建物跡 11 棟

【時期不明】掘立柱建物跡 2 棟、土坑 5 基、溝跡 3 条

エ．出土遺物

【縄文時代】石器

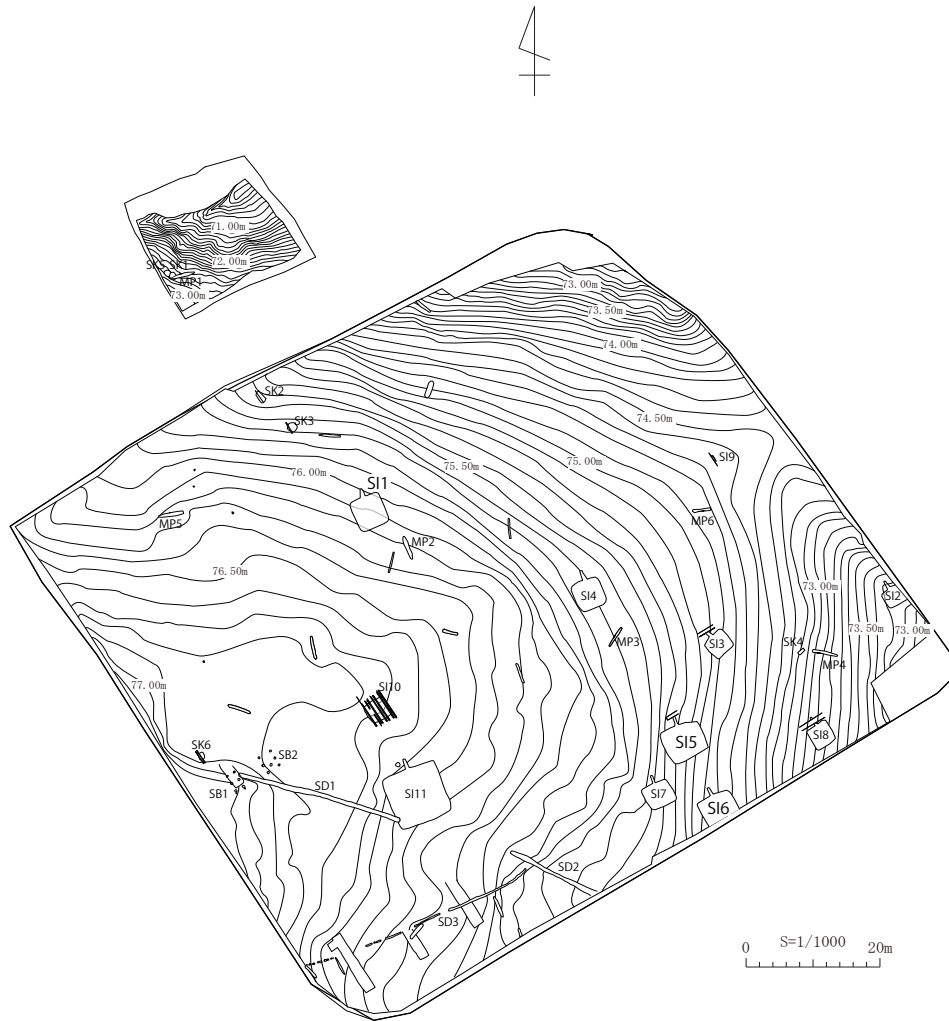
【古代】土師器 (奈良)・土製品・石器・石製品

オ．調査成果

今回の調査では、奈良時代の大型竪穴建物跡を確認した（SI11 竪穴建物跡）。建物の規模は一辺約8mである。この建物にはカマドが2つあり、建物を大きく作り替えた痕跡もみられることから、この建物は最低3回の作り替えがなされていると考えられる。床の拡張やみつかった柱穴の配置から、この建物は最初一辺6m程度の4本柱の建物として作られ、そこから柱を増やしたり床を拡張したりすることで最終的に一辺8mの8本柱の建

物になったと推定される。

大型竪穴建物跡は、出土品が少なく遺物から用途を推定することは難しいものの、馬淵川北岸地域の他の奈良時代集落でみつかった竪穴建物跡と比べても大きい建物であることから、地域のなかで特別な場所であった可能性がある。



笹ノ沢 (4) 遺跡 調査区



笹ノ沢 (4) 遺跡空撮写真



SI11 竪穴建物跡

②熊野堂遺跡第 8 地点 (p24-No.23)

調査地：八戸市長根二丁目 12 番 10

担当職員：横山 寛剛

調査概要：

ア．遺跡の概要

本遺跡は、八戸市庁から北西に約 1.3km に位置し、馬淵川の河口から約 3.8km の地点に所在する。本遺跡の北方約 200 m を北東に流れる馬淵川は沖積地を形成し、その沖積地から一段高い標高約 16m の低位段丘の先端に本遺跡は立地する。遺跡の現状は、区画整理によりほぼ全域が宅地化されている。

これまで八戸市教育委員会により 7 地点の発掘調査が実施され、奈良時代から平安時代の集落跡であることを確認している。これまで竪穴建物跡 200 棟以上、土坑 500 基以上と多数の遺構が検出されている。

イ．調査に至る経緯

本地点は遺跡の南東側に位置し、標高約 16m のほぼ平坦地に立地する。地番は八戸市長根二丁目 7-4、7-5 で、現状は宅地となっている。個人住宅建築に伴い、令和 5 年 3 月 9 日付けで文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。届出に基づき、令和 5 年 4 月 12 ～ 14 日に試掘調査を実施した。調査面積は 53.5 m² である。試掘調査の結果、竪穴建物跡・土坑・溝状土坑などの遺構を検出し、土師器・須恵器・

鉄滓が出土した。調査結果を受け、地権者との協議を行ったところ、住宅建築着工に先立ち、本発掘調査を行うこととなった。

本発掘調査期間は令和 5 年 5 月 8 ～ 25 日、調査面積は 104m² である。

ウ．検出遺構

【縄文時代】溝状土坑 2 基

【古 代】竪穴建物跡 3 棟

【時期不明】土坑 4 基

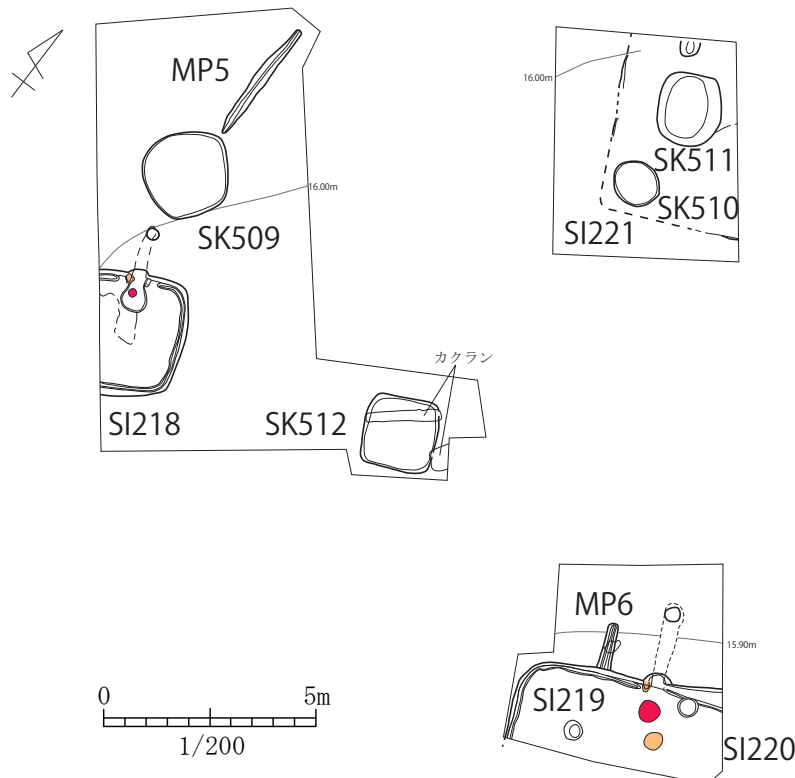
エ．出土遺物

【古 代】土師器、須恵器、石器、石製品、鉄製品

オ．調査成果

今回の調査の特筆すべき遺物として、SI219 竪穴建物跡から石帯の石製帯飾り具である丸軋が出土した。長さ 4.0cm、幅 2.8cm、厚さ 6mm を測り、色は黒色で光沢を帯びる。蛍光 X 線分析により、石材は硬質頁岩であることがわかった。

石帯の石製帯飾り具は、これまで八戸市内で 2 点、青森県内で 9 点しかみつかっておらず、非常に貴重な資料である。



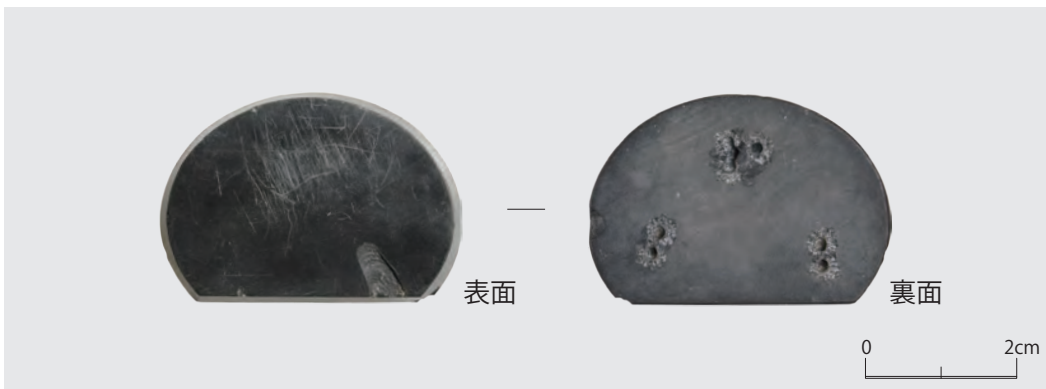
遺構配置図 熊野堂遺跡第 8 地点



SI218 竪穴建物跡



SI218 竪穴建物跡 床面～床面直上遺物検出状況 (→が石帯の石製帯飾り具 (丸軋))



石帯の石製帯飾り具 (丸軋) 裏面に2個一対の孔があり、底が貫通している。



SI218 竪穴建物跡 土師器甕出土状況



左：器高 14.3 cm 口径 12.1cm
右：器高 (20.5)cm 口径 20.8cm

SI218 竪穴建物跡床面出土 土師器甕



SI219・220 竪穴建物跡



SK512 土坑

③熊野堂遺跡第 9 地点 (p24-No.25)
調査地：八戸市長根二丁目 12 番 10
担当職員：横山 寛剛
調査概要：

ア．遺跡の概要

熊野堂遺跡第 8 地点に同じ。

イ．調査に至る経緯

個人住宅建築に伴い、令和 5 年 10 月 20 日付けで文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。届出に基づき、令和 5 年 12 月 2 日に試掘調査を実施した。調査面積は 12㎡である。調査結果を受け、届出者との協議を行ったところ、住宅建築着工に先立ち、本発掘調査を行うこととなった。調査期間は令和 5 年 12 月 19 日から 21 日、調査面積は 47㎡である。

発掘調査終了後、届出者の都合により個人住宅建築の計画が建売住宅建築へ変更となり、令和 6 年 3 月 15 日付けで文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸教育委員会に提出され、本発掘調査に係る費用は原因者負担となった。

ウ．検出遺構

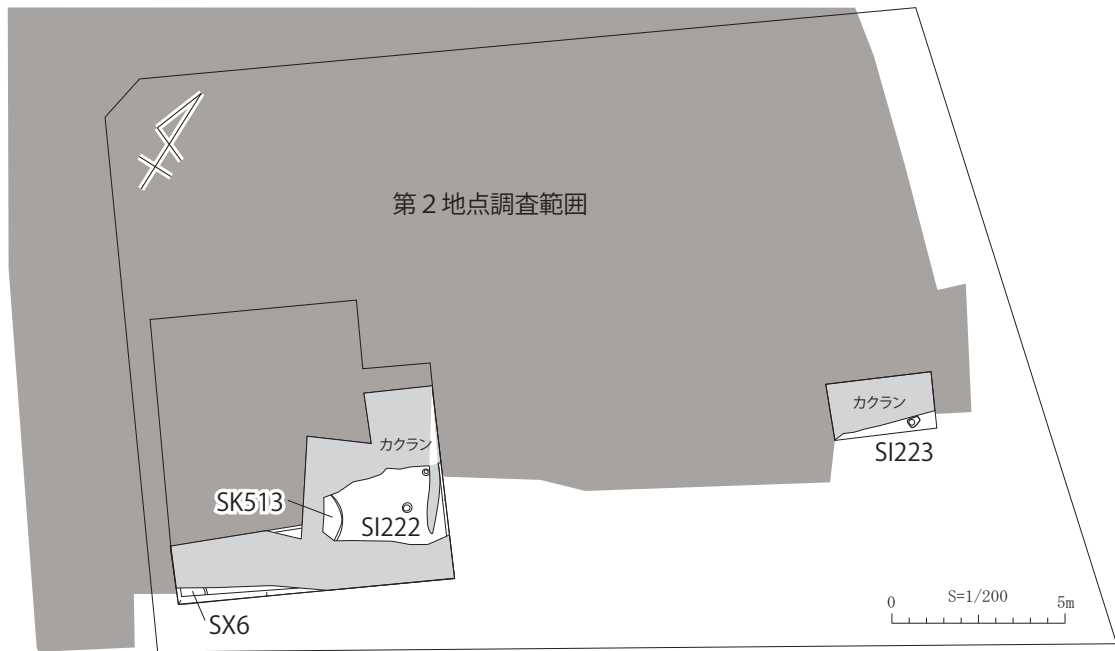
- 【古 代】竪穴建物跡 2 棟
- 【時期不明】土坑 1 基、性格不明遺構 1 基

エ．出土遺物

- 【古 代】土師器

オ．調査成果

今回の調査地点は八戸市教育委員会が平成 26 年度に行った第 2 地点の南に隣接している。第 2 地点からは 10 世紀後半を主体とする古代の集落跡がみつかり、今回の調査により集落がさらに南へ広がることがわかった。



遺構配置図 熊野堂遺跡第9地点



SI222 竪穴建物跡 (北西から)



SI223 竪穴建物跡 土師器甕出土状況



SI223 竪穴建物跡出土 土師器甕
器高：(14.3) cm、口径 12.1cm

④松ヶ崎遺跡第 11 地点 (p24-No.26)

調査地：八戸市大字十日市字長根 13-1

担当職員：宇庭 瑞穂、山田 貴博、小笠原 善範

調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸市中心部から南東約 4km に位置する。遺跡の新井田川とそ支流の松館川がに挟まれた標高 27～45m の台地上に立地する。

令和 4 年度までに八戸市教育委員会による 21 地点の調査と、青森県教育委員会による 4 地点の発掘調査が行われ、市内最大規模の縄文時代前～中期の集落跡であることが判明している。

イ．調査に至る経緯

第 11 地点は遺跡中央部に位置し、標高約 36～42m の緩傾斜地に立地し、現況は荒蕪地である。長芋作付けに伴い、平成 30 年 6 月 5 日付で文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。本地点西側は平成 13 年度に試掘調査が行われ、遺構が複数重複することが確認されている。未調査の東側を平成 30 年 6 月 14 日～7 月 4 日に試掘調査を行ったところ、遺構密度が希薄であることを確認した。これを受け、届出者と協議したところ、開発範囲約 8,622㎡を 6 区画に分割し本発掘調査を実施することで合意した。令和 5 年度の調査期間は令和 5 年 4 月 14 日～12 月 6 日および令和 6 年 3 月 5 日～27 日、調査面積は 1,098㎡である。

ウ．検出遺構

【縄文時代】 竪穴建物跡、掘立柱建物跡、盛土遺構、土坑（フラスコ状土坑・土坑墓を含む）

【古 代】 竪穴建物跡

【時期不明】 溝跡

エ．出土遺物

【縄文時代】 縄文土器、石器、石製品、土製品、動物遺存体

【古 代】 土師器、土製品

オ．調査成果

調査区のほぼ全域で、縄文時代の竪穴建物跡や掘立柱建物跡、土坑（フラスコ状土坑・土坑墓を含む）、盛土遺構などの遺構を多数検出した。遺構は複雑に重複しており、時期は縄文時代中期中葉から後葉ごろのものが多数を占める。

調査区西側では、遺物を多量に含む盛土遺構が、広い範囲で分布することを確認した。盛土遺構は縄文時代中期中葉が主体で、堆積土には多量の縄文土器や石器のほか、焼土やロームブロック、炭化種子（クルミ）や炭化材、動物遺存体（貝、シカの骨など）などが含まれている。竪穴建物廃絶後の凹地に遺物や土などが廃棄され、盛土遺構が形成された様子も確認されている。



松ヶ崎遺跡第 11 地点 調査区全景（南から）



松ヶ崎遺跡第 11 地点 遺構配置図



SK190 フラスコ状土坑 (東から)



SI102 竪穴建物跡 炭化材出土状況 (東から)

⑤細越遺跡第 2 地点 (p24-No.22)

調査地：八戸市大字松館字細越 4 の一部

担当職員：山田 貴博

調査概要：

ア．遺跡の概要

本遺跡は八戸市中心部から南東へ約 5km、新井田川支流の松館川に面した標高 10～30 m の段丘先端に立地する。これまで八戸市教育委員会により 1 地点の試掘調査が行われており、中世以降とみられる土坑 1 基と近世とみられる柱穴 3 基が検出された。

イ．調査に至る経緯

調査地点は遺跡の中央から北西寄りに位置し、地番は八戸市大字松館字細越 4 の一部である。令和 5 年 3 月 6 日付けで文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。試掘調査を令和 5 年 4 月 4 日から 5 日に行い、古代の遺物とともに竪穴建物跡などの遺構が確認されたため、地権者と協議し、開発工事に先立って本発掘調査を実施することで合意した。本発掘調査期間は令和 5 年 4 月 27 日～5 月 31 日、面積は 120㎡である。

ウ．検出遺構

竪穴建物跡 9 棟 土坑 3 基

エ．出土遺物

土師器、須恵器、土製品、鉄製品、銅製品、動物遺存体

オ．調査成果

検出された竪穴建物跡は、礫を芯材としたカマドを持つものがあり、出土遺物の特徴から SI 1～8 は平安時代と考えられる。SI 9 は古代の遺物が出土しているが、堆積土の状況が他の平安時代の竪穴建物と異なるため、古代以降と考えられる。

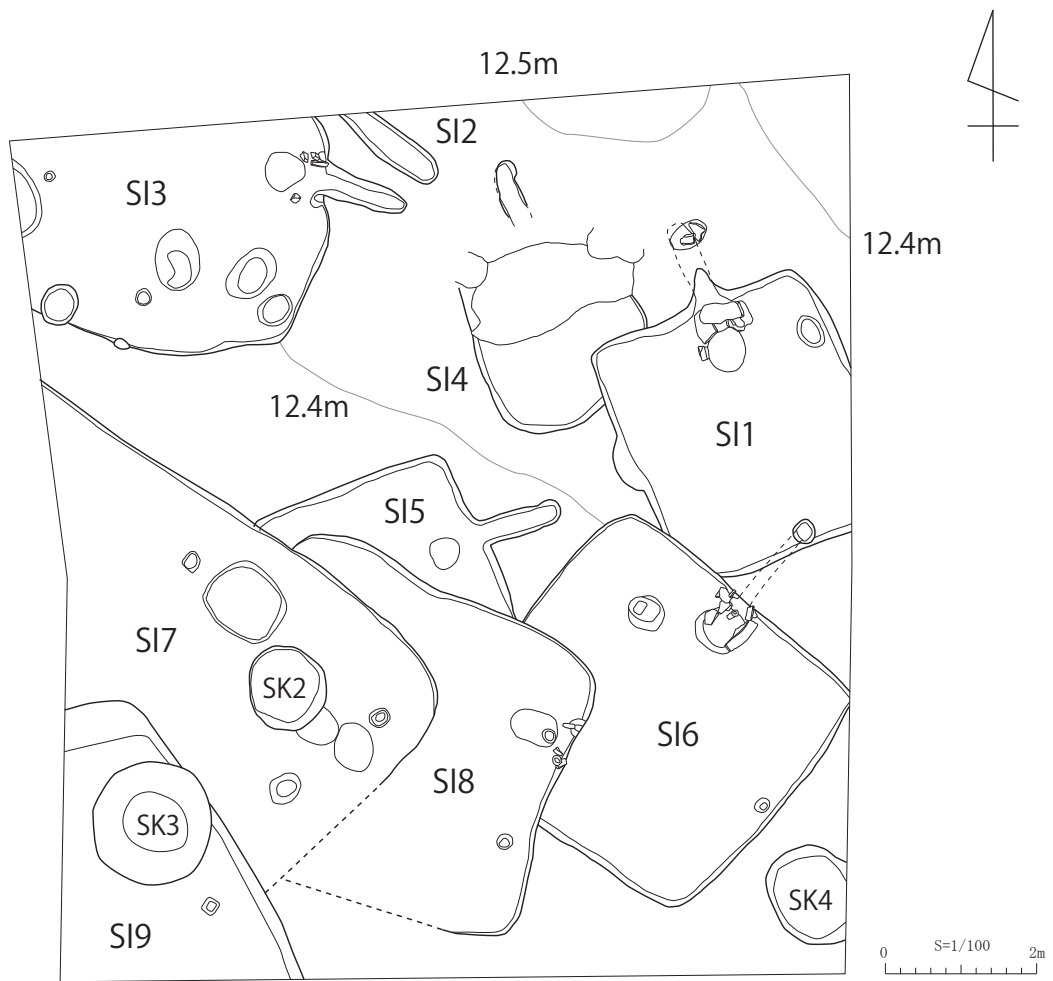
土坑からは平安時代の土師器が出土しているが、明確に時期を検討できないことや、遺構の重複関係から古代以降と考えられる。

遺物は平安時代の土師器、須恵器をはじめ、鉄製品や動物遺存体が出土している。SI 6 床面から鍛造剥片が出土したことから、建物内で鍛冶作業を行っていたと考えられる。また、調査区全体からウマやウシなどの動物遺存体が出土し、年代測定により平安時代と推定されることから、動物の利用も行われていたことがわかった。

本地点は 120㎡という狭い範囲の中で竪穴建物等が密集しており、周辺には平安時代の集落が広がっていると考えられる。



調査地点遠景 細越遺跡第 2 地点 (南から)



遺構配置図 細越遺跡第2地点



SI1 ウマ下顎骨出土状況 (西から)



SI6 鉄製紡錘車出土状況 (西から)

3. 発掘調査報告書

令和5年度には、発掘調査の成果を埋蔵文化財調査報告書として計2冊を刊行した。

	書名	シリーズ名	シリーズ番号	編著者	発行年月日
1	八戸市内遺跡発掘調査報告書 49 石橋遺跡第 12 地点発掘調査報告書	八戸市埋蔵文化財 調査報告書	第 185 集	山田貴博・宇部則保・ 小笠原善範	令和 6 (2024) 年 3 月 22 日
	所収遺跡名：石橋遺跡第 12 地点				
2	八戸市内遺跡発掘調査報告書 50	八戸市埋蔵文化財 調査報告書	第 186 集	上ノ山拓己・山田貴博・ 横山寛剛	令和 6 (2024) 年 3 月 22 日
	所収遺跡名：沢ノ上遺跡第 2 地点・弥次郎窪遺跡第 1 地点・新井田古館遺跡第 36 地点・熊野堂遺跡第 8 地点・熊野堂遺跡第 9 地点・細越遺跡第 2 地点				

4. 情報公開

(1) 現地説明会

○松ヶ崎遺跡現地説明会

開催日時：令和5年10月14日（土）

1 回目 10:30 ～ / 2 回目 14:00 ～

(2) 令和5年度遺跡調査報告会

令和5年度に実施した発掘調査の主な成果を報告した。また、今回は特別報告として青森県埋蔵文化財調査センターが令和2年度に発掘調査した八戸市法霊林遺跡について、同センターの長谷川大旗氏に報告していただいた。

開催日時：令和5年11月11日（土）

14:00 ～ 16:00

報告内容：

【報告遺跡】

- ・松ヶ崎遺跡（十日市 縄文時代）
- ・笹ノ沢（4）遺跡（尻内町 縄文・古代）
- ・法霊林遺跡（田面木 古代）

【主な展示】

- ・松ヶ崎遺跡の縄文土器・石製品など
- ・笹ノ沢（4）遺跡の土師器・石製品など
- ・細越遺跡の土師器・鉄製品・動物遺存体など



現地説明会の様子



調査報告の様子

5. 是川遺跡美術工芸品保存修理事業

事業計画 重要文化財「是川遺跡出土品」の保存修理及び保存台の作成を行う。(第1期：平成24～28年度、第2期：平成29～令和2年度、第3期：令和3～6年度)

期間 令和5年6月5日～令和6年3月22日

概要 平成23年に是川遺跡出土品330点が重要文化財に追加指定された。この指定品には多数の木製品や漆製品が含まれており、発掘調査後に保存処理を実施しているが、欠損部分や脆弱な部分が認められる。土器・石器等には石膏の充填、接合部の剥離などが認められる。資料の劣化を抑制するとともに、本来の状態を復元し広く公開活用にあつため、保存修理を実施する。また、事業内容をホームページなどで紹介する。

なお、本事業では八戸市博物館所蔵の丹後平古墳群出土品の保存修理も実施する。

内容 土器6点、漆製品2点、木製品5点、石製品12点、計25点の保存修理を実施した。

受託者 株式会社吉田生物研究所(京都府)

事業費 9,768千円(50%国庫補助。丹後平古墳群出土品にかかる費用を含む。)



土器(修理前)



土器(修理中)



土器(修理後)

重要文化財鉢形土器修理状況

6. 八戸市内遺跡出土鉄製品保存処理

事業計画 過去に八戸市内の遺跡から出土した鉄製品の保存処理を実施する。

期間 令和5年5月30日～令和5年3月22日

内容 鉄製品計9点の保存処理を実施した。

受託者 株式会社吉田生物研究所(京都府)

事業費 748千円(50%国庫補助)



鉄製品 保存修理完了後の蹄鉄

7. 埋蔵文化財活用活性化事業

事業計画 平成25年から30年度まで国庫補助事業で行った出土品の収蔵整理及びデータベース化を、平成31(令和元)年度より市単独事業で継続している事業の5年目である。

期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

概要 収蔵資料の体系化を目的とし、収蔵品のデータベース化及び再整理・再収納を実施した。

事業費 11,379千円

内容 出土した資料計145点のデータベース化を行い、収蔵庫へ収納した。

V 史跡整備

1. 史跡是川石器時代遺跡第 1 期整備事業

是川石器時代遺跡の発掘調査及び研究の成果を基に、八戸の縄文文化の魅力を伝え、生涯学習・観光・まちづくりの拠点や憩いの場として「是川縄文の里」を整備する事業。

〈これまでの実績〉

平成 27 年度「史跡是川石器時代遺跡保存活用計画」策定

平成 29 年度「是川石器時代遺跡第 1 期整備基本計画」策定

* 是川石器時代遺跡を構成する 3 遺跡のうち、内容確認が最も進んでいる中居遺跡を対象とする

平成 30 年度地形測量、第 1 期整備基本設計

令和元年度第 1 期整備工事開始

* 史跡内の既存建物解体工事

令和 5 年度は、中居遺跡を北工区・南工区に分割し、南工区の地形造成等工事に向けた工事実施設計、南工区内の電線移設を行った。工事実施設計及び電線移設にあたっては、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産としての遺産影響評価を行い、工事実施設計については詳細分析を実施することとしている。

電線移設にあたり、文化財保護法第 125 条第 1 項の規定に基づく史跡の現状変更の許可を受け、中居遺跡・一王寺遺跡に 3 か所に電柱を新設した。

令和 6 年度より実施設計に基づく遺構保護のための盛土工事を行い、縄文時代晩期のムラの景観を本格的に復元していく。

2. 史跡維持管理

史跡是川石器時代遺跡の環境保全・景観管理のため、館の繁忙期や行事による来館者の往来、草の繁茂状況を鑑みて 4 月から 10 月にかけて除草を実施した。

○ヤギ除草（堀田遺跡・中居遺跡地内）

面積 約 13,700m²
 期間 4 月 19 日～ 10 月 31 日
 受託者 八戸市森林組合
 事業費 1,340 千円

○除草・清掃（分館敷地・是川遺跡記念碑）

面積 約 16,000m²
 期間 5 月 17 日～ 10 月 31 日
 受託者 一般社団法人ユニバーサルネット
 事業費 2,805 千円

○除草（一王寺遺跡地内）

面積 約 68,100m²
 期間 6 月 15 日～ 10 月 31 日
 受託者 株式会社根城グリーン建設
 事業費 2,541 千円



除草するヤギ

○世界遺産登録

八戸市は、北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県14市町による共同推進体制の一員として、史跡是川石器時代遺跡をはじめとする「北海道・北東北の縄文遺跡群（以下縄文遺跡群）」の世界遺産登録を目指し、令和3年7月27日に縄文遺跡群の世界遺産一覧表の「記載（登録）」が決定した。縄文遺跡群の適切な保存管理のため、縄文遺跡群世界遺産本部のもと、協議会・青森県部会・専門家委員会で包括的保存管理体制、構成資産の経過観察や遺産影響評価等の協議を進めている。令和2年度から継続して実施している経過観察を実施し、庁内関係課で組織する「史跡是川石器時代遺跡保存活用連絡会議」の連携により年次報告書を作成した。また、遺産影響評価を本格的に実施し、令和5年度は構成資産内2件、緩衝地帯内2件の評価を行った。構成資産内の2件のうち1件は、整備工事実施設計に伴うものであり、資産に与えるについて詳細分析を実施することとした。

令和5年度より世界遺産PR事業として、JR東日本新幹線車内誌「トランヴェール」広告掲載、JR東日本東京駅・上野駅構内デジタルサイネージ広告を実施した。このほか、八戸市営バスでのバスラッピング広告1台も継続して実施している。



「トランヴェール」広告



デジタルサイネージ 広告（3種）

VI 管理運営概要

1. 協議会等

(1) 令和 5 年度是川縄文館運営協議会

期日 【第 1 回】 令和 5 年 7 月 27 日

【第 2 回】 令和 6 年 2 月 9 日

会場 是川縄文館 2 階研修室

委員 岡村道雄（会長）、高田和徳（副会長）、
山下治子、石川宏之、木村和彦、出貝幸浩

概要 是川縄文館の運営や事業について、文化財・
教育普及・博物館経営・広報等の専門的見
地から評価・助言を得るための協議会。5
年度は 2 名の委員解職に伴い後任の委員を
委嘱した。第 1 回では、令和 4 年度事業報
告を行い、第 2 回では令和 6 年度事業計画
の説明を行い、それぞれについて、意見・
助言があった。



運営協議会

(2) 史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会

期日 【第 13 回】 令和 5 年 9 月 22 日

【第 14 回】 令和 5 年 12 月 21 日

会場 是川縄文館 1 階会議室

委員 岡村道雄（会長）、辻誠一郎（副会長）
高田和徳、馬場光久、*オブザーバー：
青森県教育委員会文化財保護課

概要 史跡是川石器時代遺跡の整備事業について、
基本方針、計画、内容等を定めることを目
的に有識者による検討を行う委員会。第 13
回・第 14 回ともに第 1 期整備事業整備工
事実施設計の進捗について検討を行った。
政策決定に係る内容を含むため、会議は非
公開とした。

(3) 令和 5 年度是川縄文館懇談会

期日 令和 6 年 3 月 16 日

会場 是川縄文館 2 階研修室

出席者 中居町内会 田中町内会 風張町内会
是川地区振興会 是川団地町内連合会
八戸縄文保存協会 縄文是川ボランティア
是川縄文館職員

概要 是川縄文館の近隣町内組織及び支援団体から館の運営について助言・連携等を得るための会合。令和 5 年度の事業報告、令和 6 年度事業計画等の説明をもとに連携の進め方について協議した。出席者からは、史跡整備についての質問や、地域連携についての意見などが出された。



是川縄文館懇談会

2. 日記抄

月/日	事項
4/1	視察：朝日町文化・体育振興公社（2人）
4/6	ボランティア激励セレモニー（16人） 取材：デーリー東北新聞社（1人）/東奥日報社八戸支社（1人）/BeFM（1人）/NHK（3人） 見学：八戸縄文保存協会（2人）/ 是川音頭保存会（6人）
4/7	見学：八戸縄文保存協会（1人）/個人（4人）/八戸市人事課（49人）
4/8	見学：縄文是川ボランティア（1人）
4/9	見学：八戸縄文保存協会（1人）
4/13	見学：Cabstation Service,Co.（9人）
4/14	見学：新町福寿会（11人）/江渡学園（4人）
4/18	見学：個人（2人）
4/20	見学：個人（2人）
4/21	見学：八戸製錬（株）（6人）
4/23	見学：個人（1人）/個人（2人）
4/25	見学：個人（6人）
4/27	見学：名鉄観光サービス（株）（7人） 視察：八戸市市民連携推進課（18人）
4/29	滑石でペンダント作り教室（18人）
5/1	滑石の勾玉作り・見学：五戸町立上市川小学校6学年（18人）
5/2	見学：ワウ（株）
5/3	琥珀の勾玉作り・見学：個人（4人） 見学：個人（2人）/個人（4人）/個人（4人）
5/4	見学：個人（1人）/八戸縄文保存協会（1人）
5/5	見学：八戸縄文保存協会（1人）/クラブツーリズム（24人）
5/6	見学：縄文是川ボランティア（1人）
5/9	見学：個人（2人）
5/10	視察：苫小牧市美術博物館（3人）
5/12	見学：阪急交通社（27人）/東北歴史博物館（4人）/クラブツーリズム（24人）
5/13	考古学講座①（66人） 見学：八戸縄文保存協会（1人）
5/14	見学：是川地区連合町内会・是川地区振興会（11人）/（株）たびせん・つなぐ（17人）/読売旅行（35人）
5/16	合掌土偶作り：鷗盟大学（5人） 見学：立正佼成会（3人）
5/17	見学：岩手県議会文教委員会（13人）/阪急交通社（22人） 取材：（株）JTBパブリッシング（7人）
5/18	見学：クラブツーリズム（20人）/ （株）道新サービスセンター（19人）
5/19	見学：個人（1人）/クラブツーリズム（23人）
5/20	サポートスタッフ研修会①（24人） 見学：（株）ユーラシア旅行社（18人）
5/21	見学：是川浄信館（6人）
5/23	見学：デイサービスふきのとう（23人）
5/24	縄文土器野焼き（19人）於分館 下見：八戸市教育指導課（3人）
5/25	縄文土器作り・見学：五戸町立倉石中学校1学年（21人） 見学：個人（2人）/クラブツーリズム（22人）/（株）読売旅行（30人）/八戸市観光スポーツ部部長（8人）/S・C・M（9人）
5/26	見学：名鉄観光（17人）/個人（1人）
5/27	これかわ考古学クラブ開講式（7人） サポートスタッフ研修会②（18人） 見学：個人（1人）/クラブツーリズム（20人）
5/30	見学：（株）クラブツーリズム（22人）
6/2	縄文土器作り・見学：八戸市子ども支援センター（12人） 見学：ツネマツガス（株）（8人）
6/3	これかわ考古学クラブ①（5人）
6/4	見学：鬼笑会（18人）
6/6	見学：ポストタクシー（株）（1人）/ 八戸縄文保存協会（1人）
6/7	縄文土器作り・見学：向陵高等学校1・2学年（33人） 見学：個人（1人）
6/9	見学：青森明の星高等学校3学年（152人）/ （株）阪急交通社（26人）/クラブツーリズム（22人）
6/10	サポートスタッフ研修会③（26人） 下見：六戸町立七百中学校（1人）
6/11	見学：個人（2人）
6/13	見学：クラブツーリズム（株）（21人）/ クラブツーリズム（株）（24人）
6/14	見学：クラブツーリズム（株）（14人）
6/15	縄文土器作り・見学：八戸聖ウルスラ学院高等学校3学年（4人） 見学：マリアンハウス幼稚園（23人）
6/16	見学：秋北航空サービス（19人）/八戸工業高等専門学校（16人）/クラブツーリズム（22人）
6/17	考古学講座②（52人）
6/18	見学：小金井史談会（24人）
6/20	見学：八戸縄文保存協会（1人）/ ワールド航空サービス（14人）
6/21	縄文土器野焼き（16人）於分館 見学：三沢市立おおぞら小学校6学年（15人）/ （株）阪急交通社（16人）/八戸縄文保存協会（1人）/千葉学園高等学校（9人） 取材：（株）八戸テレビ放送（3人）
6/22	見学：クラブツーリズム（19人）/七戸高等学校3学年（32人）/八戸縄文保存協会（2人）
6/23	サポートスタッフ研修会④（18人）

月/日	事項	
	見学：秋北航空サービス(株)(17人) / ツネマツガス(株)(11人) / 二井田女性部(26人) / クラブツーリズム(19人) / UAゼンセン青森県支部(15人)	視察：藤崎町議会民生教育常任委員会(7人)
6/24	サポートスタッフ研修会⑤(18人) 見学：八戸縄文保存協会(1人) / 個人(2人) / (株) 阪急交通社(21人)	7/13 第25回これかわ縄文まつり実行委員会(21人) 土製ペンダント作り・見学：八戸市立中居林小学校6学年(63人) 取材：カスタネット(1人)
6/25	見学：八戸高等学校14期生(15人)	7/14 特別展内覧会：報道関係・ボランティア(21人) 滑石の勾玉作り・見学：吹上コープ委員会(15人) 見学：個人(2人) / 阪急交通社(27人) 取材：カスタネット(1人)
6/27	縄文土器作り・見学：八戸市立吹上小学校6学年(80人) 見学：五戸町更生保護女性会(20人) / クラブツーリズム(20人) / 個人(3人) / UAゼンセン青森県支部(34人) 取材：鷗盟大学2学年(2人)	7/15 夏季特別展ギャラリートーク(9人) 見学：八戸縄文保存協会(1人) / 個人(2人)
6/28	第2回消防訓練	7/16 見学：秋北航空サービス(株)(23人) / 個人(46人)
6/29	撮影：八戸市美術館(2人)	7/18 縄文土器作り・見学：六戸町立七百中学校1学年(54人)
6/30	滑石の勾玉作り・見学：五戸町立五戸小学校6学年(61人) 見学：(株) 阪急交通社(28人) / クラブツーリズム(株)(21人)	7/19 縄文土器作り・カラムシ見学・見学：八戸市立是川小学校4学年(40人)
7/1	講話：是川公民館講座(20人) 於：是川公民館 講師：当館学芸員 サポートスタッフ研修会⑥(4人) 見学：福山誠之館(21人) / 個人(2人) 視察：鳥取県とっとり弥生の王国推進課(3人)	7/20 見学：個人(2人) 取材：八戸高等学校(6人)
7/2	見学：たかな俳句会(27人) / 八戸縄文保存協会(1人) / 弘前大学(8人)	7/21 見学：クラブツーリズム(23人) 視察：第67回港湾都市協議会開催実行委員会(49人) 取材：青森県庁(4人)
7/4	縄文土器作り：鷗盟大学(19人) 見学：個人(1人) / 個人(1人) 取材：WAC(株)	7/22 合掌土偶作り教室(26人) 夏季特別展ギャラリートーク(12人) 見学：八戸縄文保存協会(1人)
7/5	滑石の勾玉作り・見学：八戸市立白銀小学校6学年(39人) 火起こし・見学：久慈市立小袖小学校5・6学年(14人) 見学：八戸市立豊崎中学校1学年(5人)	7/23 見学：弘前歩こう会(60人) / 八戸縄文保存協会(1人) 取材：東奥日報社(1人)
7/6	滑石の勾玉作り・見学：八戸市立三条小学校6学年(59人) 見学：クラブツーリズム(13人) 撮影：(株) グランフォート(1人)	7/25 縄文土器野焼き(16人) 於分館 見学：八戸縄文保存協会(1人) / 介護予防講座(25人) 視察：南部町教育委員会(4人)
7/7	滑石の勾玉作り・見学：田子町立田子小学校6学年(37人) 見学：青森県立弘前第二養護学校小学部6学年(12人) / 岩手県立釜石祥雲支援学校高等部3学年(16人) / (株) 農協観光北東北支店(3人)	7/27 令和5年度第1回八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館運営協議会 見学：五戸町身体障害者福祉会(20人) / 八戸縄文保存協会(2人)
7/8	考古学講座③(48人) 見学：個人(2人) / 個人(2人) 下見：みちトラベルジャパン(2人)	7/28 見学：青森支店ろうきん友の会(40人) / クラブツーリズム(24人) 下見：洋野町立角浜小学校6学年(1人)
7/9	見学：国立歴史民俗博物館(10人) / 個人(4人) / 北日本ツーリスト(下牛潟納税貯蓄組合)(27人)	7/29 夏季特別展ギャラリートーク(13人)
7/11	縄文土器作り：鷗盟大学2学年(23人) 見学：クラブツーリズム(24人) 取材：八戸東高等学校2学年(3人)	7/30 見学：個人(2人) / 郵船クルーズ(株)(33人) / 東邦大学付属東邦中学校高等学校考古学部(41人)
		8/1 見学：三八五流通(4人) / 東日本映画(株)(18人) / 八戸縄文保存協会(1人) / 樹の音(10人) / ハーフの会(12人)
		8/2 滑石の勾玉作り・見学：鮫児童館(32人) 見学：東武トップツアーズ(株)(20人) / (株) 三八五オートリース(2人)

月/日	事項
8/3	見学:トリアド工房 (1人) / 真己 (17人) / リハステーションコウノトリ (10人)
8/4	見学:八戸市教育委員会教育指導課 (令和・南部藩寺子屋交流事業) (32人)
8/5	これかわ考古学クラブ② (6人) 夏季特別展ギャラリートーク (6人) 見学:三沢市大津おらほの寺子屋 (17人) / クラブツーリズム (12人) / 視察・見学:木村研究室 (10人) 取材:(一財) VISIT はちのへ (3人)
8/6	見学:個人 (2人) / クラブツーリズム (21人)
8/8	滑石の勾玉作り・見学:南部町スポーツ少年団 (9人) 見学:クラブツーリズム (24人)
8/9	火起こし練習:八戸市立是川小学校 6 学年 (4人) 見学:洋野町社会福祉協議会 (13人) / 金沢美術工芸大学工芸科 (18人) / 個人 (2人)
8/11	見学:クラブツーリズム (株) (23人)
8/12	夏季特別展ギャラリートーク (8人)
8/14	見学:八戸縄文保存協会 (1人)
8/15	見学:平田鍛刀場 (2人) 視察:八戸市文化創造推進課 (8人)
8/17	見学:個人 (3人) / 北星交通 (株) (1人) / クラブツーリズム (14人)
8/18	見学:アハルテケ・アフィニティ (株) (2人) 見学・勉強会:八戸市立是川小・中学校 (21人) 講師:当館学芸員
8/19	夏季特別展ギャラリートーク (21人) 八戸市博物館学物館実習 (5人)
8/20	第 25 回これかわ縄文まつり (771人)
8/22	見学:クラブツーリズム (23人) / クラブツーリズム (23人)
8/24	見学:クラブツーリズム (9人) / 芝中学・高等学校考古学部 (20人)
8/25	視察:八戸市政策推進課 (10人)
8/26	特別展考古学講座 (55人) 夏季特別展ギャラリートーク (13人) 見学:小波田地ほっこり会サロン (7人) / 平川市自治公民館連絡協議会 (22人)
8/27	見学:七日市公民館 (22人)
8/29	縄文土器作り・見学:八戸市立根城小学校 6 学年 (102人) 見学:長谷部葉子研究会 (11人)
8/30	見学:個人 (4人)
8/31	滑石の勾玉作り・見学:階上町立赤保内小学校 6 学年 (34人) 見学:八戸縄文保存協会 (1人) / 金木町地域転作集団連絡協議会 (30人) / (株) 東奥アドシステム (21人)
9/1	滑石の勾玉作り・見学:八戸市立明治中学校 1 学年 (10人) / 八戸市総合教育センター (22人) 見学:赤石川水利調整委員会 (21人) / 八戸市立旭ヶ丘小学校 3・4 学年 (124人) / ハッピー保育園 (19人) / 八戸縄文保存協会 (1人) / クラブツーリズム (株) (11人)
9/2	縄文の布を編む講座 (15人) 夏季特別展ギャラリートーク (8人) 見学:個人 (10人)
9/3	見学:三内丸山遺跡センター (24人)
9/5	見学:平内町退職者会 (26人) / クラブツーリズム (29人) / クラブツーリズム (21人) / 弘南観光開発 (株) (22人) / クラブツーリズム (24人) 視察:千歳市教育委員会 (7人)
9/6	滑石の勾玉作り・見学:八戸市立高館小学校 5・6 学年 (54人) 見学:(株) i HOLON (4人)
9/7	滑石の勾玉作り・見学:八戸市立鮫中学校 1 学年 (44人) 見学:個人 (8人)
9/8	縄文土器作り・見学:八戸市立是川小学校 5 学年 (21人) 見学:阪急交通社 (28人) / 岩手県消防協会北上地区支部 (14人) / クラブツーリズム (15人)
9/10	見学:VISIT 八戸市立はちのへ (4人) / 弘前縄文の会 (42人) / 個人 (2人)
9/12	縄文土偶作り・見学:八戸市立是川小学校 6 学年 (30人) 見学:クラブツーリズム (20人)
9/13	最新研究報告内覧会 (5人) 見学:岩手県立種市高等学校 (8人)
9/14	見学:個人 (2人) / ピコツアー (7人) / クラブツーリズム (24人)
9/15	縄文土偶作り:八戸市立是川小学校 2 学年 (23人) 見学:中部地区老人クラブ連合会 (21人) / クラブツーリズム (24人)
9/16	シカの角でペンダント作り教室 (19人) 見学:個人 (3人)
9/17	見学:出戸分館 (22人) / 個人 (5人)
9/20	縄文土器作り:八戸市立是川小学校 3 学年 (27人) 講話:南浜公民館講座 (5人) (於南浜公民館) 講師:当館学芸員 / 上長公民館講座 (18人) (於上長公民館) 講師:当館学芸員 見学:青森公立大学 (21人) 視察:横浜町教育委員会 (6人)
9/21	見学:個人 (1人)
9/22	滑石の勾玉作り・見学:八戸市立城下小学校 6 学年 (59人) 見学:クラブツーリズム (7人) / (株) 阪急交通社 (26人)

月/日	事項
9/23	見学：盛岡鉄道少年団（12人）/ 鷹巣地区社会保険委員会大館北秋支部（9人）/ 八戸工業大学（2人）
9/26	土製ペンダント作り・見学：八戸市立是川小学校1学年（19人） 見学：クラブツーリズム（株）（26人）/ クラブツーリズム（23人）
9/27	縄文土器野焼き（15人）於分館 見学・クリ・トチの実拾い：八戸市立是川小学校3学年（27人） 見学：社会福祉法人合歓の会函南保育園（35人）
9/28	見学：個人（1人）
9/29	見学：阪急交通社（26人）/ 洋野町立角浜小学校5・6学年（9人）/ 東北文化学園大学（1人）/ （株）農協観光（34人）/ クラブツーリズム（21人）
9/30	見学：個人（2人）/ 個人（3人）/ 西つがる商工会職員協議会（17人）
10/1	見学：（株）みちのりトラベル東北（50人）/ 林退会（23人）
10/3	滑石の勾玉作り・見学：階上町立道仏小学校6学年（14人） 見学：弘南バス（株）（15人）/ 十和田市立大深内中学校1・2・3学年（32人）
10/4	見学：クラブツーリズム（株）（1人）
10/5	見学：弘南バス（株）（18人）/ 青森県立青森第一養護学校中学部1・2学年（12人）
10/6	秋季企画展内覧会：報道関係・ボランティア（16人） 見学：クラブツーリズム（22人）
10/7	これかわ考古学クラブ③（5人） 秋季企画展ギャラリートーク（8人） 見学：弘南バス（株）（19人）/ 個人（3人） 取材：東奥日報八戸支社（1人）
10/8	見学：国保審査会（12人）
10/9	みんなで土偶マイム・土偶マイム（36人） 秋季企画展考古学講座（62人） 見学：八戸縄文保存協会（1人）/ クラブツーリズム（22人）
10/11	出前滑石の勾玉作り：八戸市立城北小学校6学年（69人）於：八戸市立城北小学校 見学：階上町教育委員会生きがい中央大学（25人）/ 所沢市役所（6人）/ クラブツーリズム（20人） 視察：埼玉県北本市職員先進地視察研修（5人）/ 長野県塩尻市（2人） 取材：（株）TBSスパークル（5人）
10/12	見学：郵船クルーズ（株）（67人）/ 個人（1人）
10/13	講話・見学：八戸市鷗盟大学（24人）講師：当館館長 見学：デーリー東北たびぐ（第85回全国都市問題会議）（37人）/ クラブツーリズム（22人）
10/14	縄文土器作り講座①（17人） 松ヶ崎遺跡現地説明会（52人） 秋季企画展ギャラリートーク（4人） 見学：個人（16人）/ 縄文是川ボランティア（1人）
10/15	見学：慈恵会（13人）
10/17	見学：個人（2人）/ クラブツーリズム（23人） 視察：JR東日本（株）八戸駅（2人）
10/18	見学：八戸縄文保存協会（1人）/ チョコ・クッキー八戸（30人）
10/19	縄文の里俳句大会選考会（7人） 見学：八戸学院聖アンナ幼稚園（17人）
10/20	講話・見学：八戸市鷗盟大学（34人） 土製ペンダント作り・見学：三戸町立斗川小学校5・6学年（15人） 見学：寿々路会（9人）/ （株）農協観光（11人）
10/21	縄文土器作り講座②（18人） 秋季企画展ギャラリートーク（5人） 滑石の勾玉作り・見学：八戸市スポーツ振興課（苫小牧市アイスホッケーチーム）（22人） 見学：個人（2人）/ ジャストサービス（6人）/ 八戸ロータリー（6人）
10/24	取材：デーリー東北新聞社（3人）
10/25	縄文土器野焼き（14人）於分館 見学：八戸市立大久喜小学校3・4学年（11人）/ 生協二中支部（12人）
10/26	見学：温故知新の会（13人）/ 北星会（12人）
10/27	是川中学校野焼き（61人）於是川中学校 是川遺跡クリーンデー（16人） 見学：個人（2人）/ クラブツーリズム（株）（24人）
10/28	入館者35万人達成セレモニー・取材：東奥日報社八戸支社（1人）/ 青森放送（株）（1人）/ 民友新聞社（1人） 秋季企画展ギャラリートーク（2人） 見学：久慈市大川目市民センター（26人）/ クラブツーリズム（12人）/ ユーラシア旅行社（14人）/ いわてローカルユニオン（23人）
10/29	映画上映会（48人） 見学：八戸縄文保存協会（1人）
10/31	縄文の布を編む体験・見学：八戸市立是川小学校4学年（35人）
11/2	見学：八戸市立桔梗野小学校5学年（8人）/ &4+do（1人）/ 第一観光バス（8人）
11/3	是川縄文の日（905人） 取材：東奥日報八戸支社（1人）/ デーリー東北新聞社（1人）/ （株）八戸テレビ放送（2人）
11/4	漆体験イベント「浄法寺漆×是川縄文」～縄文時代と現代をつなぐ漆～（12人）

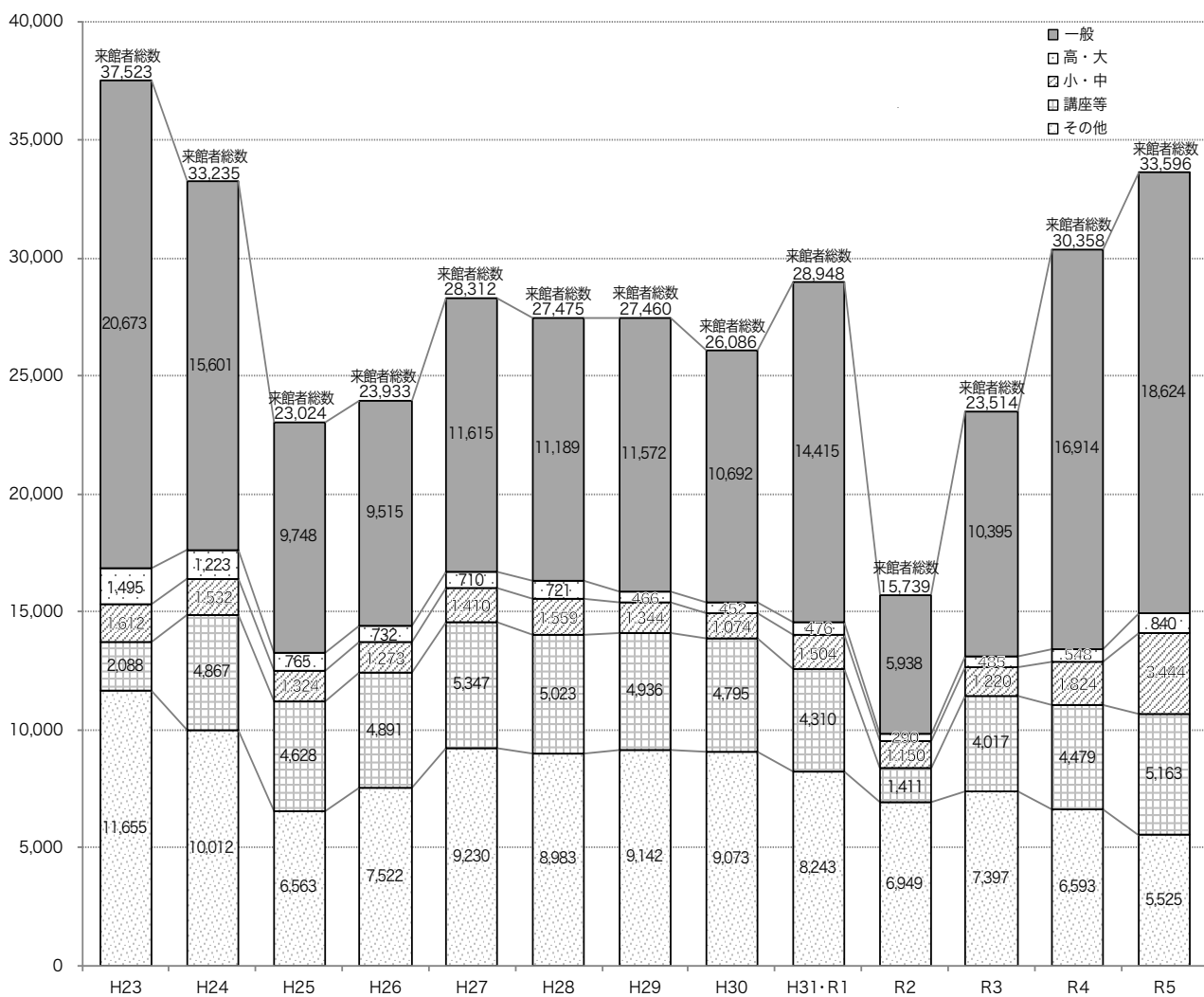
月/日	事項
	秋季企画展ギャラリートーク (2人) 見学:個人 (10人) / 八戸酒造 (株) (9人) 取材:二戸市役所 (2人)
11/5	映画上映会 (32人) 見学:個人 (2人) / 八戸縄文保存協会 (1人)
11/7	見学:クラブツーリズム (20人)
11/8	出前授業:八戸市立是川中学校 (61人) 於八戸市立是川中学校 講師:当館学芸員 取材:(株)青森テレビ (3人)
11/9	見学:高館地区社会福祉協議会 (23人) / 弘南バス (株) (30人)
11/10	滑石の勾玉作り・見学:新郷村立新郷小学校6学年 (13人) / 八戸市立長者小学校6学年 (66人) 見学:新婦人の会 (9人) / 退教互紫波地区会(20人)/八戸さんぽマイスター(5人) / クラブツーリズム (23人) 取材:デーリー東北新聞社 (1人) 講話:十和田奥入瀬ガイド養成講座(43人) 於:三本木農業恵拓高等学校 講師:当館学芸員
11/11	秋季企画展ギャラリートーク (4人) 令和5年度第22回八戸市遺跡調査報告会 (60人) 見学:八戸縄文保存協会 (2人) 取材:デーリー東北新聞社 (1人) / 東奥日報八戸支社 (1人)
11/12	見学:ボン・ヴォヤージュ神戸 (株) (20人) / (株)読売旅行 (18人) 視察:秋田県鹿角地域振興局 (23人)
11/14	見学:三八教育事務所 (11人) / (株)阪急交通社 (27人) / 如月会 (9人)
11/15	見学:青森公立大学国際芸術センター青森 (2人)
11/16	根岸公民館歴史講座 (10人) (於根岸公民館) 講師:当館学芸員 滑石の勾玉作り・見学:八戸市立白銀南小学校6学年 (83人) / 八戸市立柏崎小学校6学年 (93人) 見学:秋北航空サービス (株) (8人) / 名鉄観光 (17人) 視察:公立埋蔵文化財センター連絡協議会北海道・東北ブロック会議 (11人)
11/17	火起こし・見学:南部町立名川小学校6学年 (45人) 見学:個人 (4人) / 阪急交通社 (28人) / 八戸市立新井田小学校 (6人) 視察:全国水道企業団協議会東北地区協議会 (14人) 会議・視察:公立埋蔵文化財センター連絡協議会北海道・東北ブロック会議 (8人)
11/18	トチの実で縄文クッキング (19人) 秋季企画展ギャラリートーク (4人) 見学:八戸北高等学校地学部 (11人)
11/19	第八回是川縄文の里俳句大会表彰式 (20人)
11/21	見学:3区自治会 (25人) (講座)・見学:三内丸山遺跡センター (22人)
11/23	見学:八戸縄文保存協会 (1人)
11/25	秋季企画展ギャラリートーク (1人) 講話:令和5年度文化財普及啓発事業講演会 (25人) 講師:当館学芸員 (於千歳市北ガス文化ホール) 講話・見学:令和5年度第2期面接授業放送大学 (28人) 講師:当館学芸員
11/26	見学:チアーズOB会 (9人) / 歴博研究会 (10人) 講話・見学:令和5年度第2期面接授業放送大学 (28人) 講師:当館学芸員
11/27	見学:陽だまりクラブ (17人)
11/28	見学:諏訪老人クラブ (17人) / 小規模多機能ホーム長根の森 (8人)
11/29	火起こし・見学:八戸広報連絡会 (12人)
11/30	見学:小規模多機能ホーム長根の森 (8人)
12/1	見学:さくら会 (16人) / 小規模多機能ホーム長根の森 (8人)
12/2	見学:独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 (3人) / 小規模多機能ホーム長根の森 (5人) これかわ考古学クラブ④ (4人)
12/3	見学:個人 (2人)
12/7	八戸縄文保存協会 (1人)
12/9	見学:個人 (1人) / 特務機関社 (2人)
12/13	見学:個人 (5人) / 個人 (1人) / 稲垣地区自治会連合会 (11人) 北の防人大湊ガイドグループ (15人)
12/15	視察:縄文遺跡群世界遺産本部 (32人) 冬季企画展内覧会:報道関係・ボランティア (16人) 取材:デーリー東北新聞社 (1人) / 東奥日報社 (1人) 滑石の勾玉作り・見学:八戸市立多賀台小学校6学年 (34人)
12/16	見学:阪急交通社 (12人)
12/17	考古学講座④ (44人)
12/20	視察:東北日本の旧石器文化を語る会 (22人) 滑石の勾玉作り・見学:青森県老人クラブ連合会 (14人)
12/21	見学:さくらこ保育園 (2人) / くるみの木保育園 (1人) / 社会福祉法人あすなろさくら保育園 (2人) / 社会福祉法人輝宝福祉会 (1人) 第14回八戸市史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会 見学:(一社)日本イコモス国内委員会事務局 (1人) 視察:八戸市観光スポーツ部 (4人)

月/日 事項

- 1/8 見学：八戸市社会教育課 (2人)
 1/10 見学：三八五バス盛岡営業所 (9人)
 1/13 サポートスタッフ研修会① (24人)
 1/14 見学：八戸縄文保存協会 (1人)
 1/17 見学：(株) 阪急交通社 (27人)
 1/19 見学：個人 (1人)
 1/20 考古学講座⑤ (45人)
 1/21 見学：四街道市学校法人立幼稚園協会 (8人)
 1/24 見学：個人 (3人)
 1/25 見学：阪急交通社 (18人)
 1/27 滑石の勾玉作り・見学：喜久吉義塾スクール (19人)
 1/28 見学：八戸縄文保存協会 (2人)
- 2/1 見学：盛岡大学4学年 (19人)
 2/2 視察：八戸市行政管理課 (11人)
 2/3 これかわ考古学クラブ修了式 (6人)
 サポートスタッフ研修会③ (22人)
 2/8 見学：阪急交通社 (28人) / 個人 (3人)
 2/9 見学：第2回是川縄文館運営協議会
 2/10 考古学講座⑥ (51人)
 見学：アイスバーグ(株) (1人) /
 八戸縄文保存協会 (1人)
 2/11 見学：洋野町教育委員会 (26人)
 2/16 見学・滑石の勾玉作り：八戸市立江陽小学校6学年 (37人)
 2/17 サポートスタッフ研修会④ (21人)
 2/18 見学：三八五流通 (2人) /
 八戸市産業労政課 (8人)
 視察：青森県誘客交流課 (10人)
 2/20 見学：東日本タグポート(株) (3人) / 八戸縄文保存協会 (1人) / 八戸さんぼマイスター (6人)
 2/21 見学：東奥日報旅行センター (22人) / 阪急交通社 (29人)
 2/23 サポートスタッフ研修会⑤ (23人)
 2/24 サポートスタッフ研修会⑥ (24人)
 2/25 出前：はちのへ子どもフェスタ土面づくり (58人)
 えんぶり鑑賞会 (255人) 取材：デーリー東北新聞社 (1人) /
- 3/1 見学：南部町文化協会 (33人)
 3/2 縄文土偶作り教室 (18人)
 3/3 うるシングクッキーづくり (20人)
 3/6 滑石の勾玉作り・見学：八戸市立白鷗小学校6学年 (49人)
 3/8 見学：極洋(株) (4人)
 3/9 ボランティア手話講座 (10人)
 見学：日鉄鉱業(株) (4人)
 3/12 見学：個人 (1人)
- 3/14 土製ペンダント作り・体験：ソラーズ小学校3学年 (79人)
 3/15 見学：個人 (2人)
 3/16 火起こし：喜久吉義塾スクール (24人)
 是川縄文館懇談会 (7人)
 3/23 縄文土器作り講座③ (23人)
 3/26 見学：切田長寿会 (12人)
 3/27 見学：放課後デイサービス ミライエ (14人)
 3/28 ボランティア懇談会
 3/30 見学：個人 (2人) / 個人 (5人)

3. 来館者利用状況

月	個人			団体			減免入館者					有 料 観覧者	全額免除 観覧者	講座等 入館者	本館総 入館者	開館 日数	平 均 入館者
	一般	大・高	計	一般	大・高	計	障がい	介護	高齢	優待	計						
4月	1,098	19	1,117	0	0	0	11	10	80	12	113	1,230	261	268	1,759	27	65
5月	2,308	71	2,379	244	23	267	36	33	80	23	172	2,818	452	430	3,700	27	137
6月	1,687	42	1,729	324	198	522	33	26	40	39	138	2,389	367	430	3,186	26	123
7月	1,561	50	1,611	454	0	454	28	21	60	19	128	2,193	696	532	3,421	29	118
8月	2,635	186	2,821	200	0	200	61	49	126	30	266	3,287	1,670	697	5,654	30	188
9月	1,675	59	1,734	515	19	534	38	21	41	55	155	2,423	776	365	3,564	26	137
10月	1,793	47	1,840	348	1	349	53	32	83	28	196	2,385	540	524	3,449	26	133
11月	1,072	29	1,101	192	0	192	19	17	133	10	179	1,472	1,671	454	3,597	25	144
12月	503	14	517	0	0	0	8	7	24	28	67	584	162	229	975	22	44
1月	472	12	484	27	0	27	9	11	26	13	59	570	152	302	1,024	23	45
2月	650	26	676	75	0	75	6	6	30	11	53	804	241	685	1,730	25	69
3月	731	44	775	60	0	60	12	7	21	10	50	885	405	247	1,537	26	59
計	16,185	599	16,784	2,439	241	2,680	314	240	744	278	1,576	21,040	7,393	5,163	33,596	312	108



本館における過去 13 年間の来館者数の推移
 ※ H24 から講座等入館者にボランティアを含む。

4. 小中学校利用状況

学校利用 1,806 人 市内 1,294 人 (小学校 19 校 1,171 人 中学校 4 校 123 人) ※詳細は下表
市外 512 人
個人利用 1,809 人 市内 564 人 (小学校 493 人 中学校 71 人)
市外 1,245 人 (小学校 929 人 中学校 316 人)
総計 3,615 人

入館日	学校名	内容	人数	入館日	学校名	内容	人数
6/27	吹上小学校 6 学年	見学・体験	77	9/22	城下小学校 6 学年	見学・体験	53
7/5	白銀小学校 6 学年	見学・体験	36	9/26	是川小学校 1 学年	見学・体験	15
7/5	豊崎中学校 1 学年	見学	3	9/27	是川小学校 3 学年	見学	22
7/6	三条小学校 6 学年	見学・体験	55	10/11	城北小学校 6 学年	出前体験	69
7/13	中居林小学校 6 学年	見学・体験	59	10/25	大久喜小学校 3・4 学年	見学	9
7/19	是川小学校 4 学年	見学・体験	34	10/27	是川中学校 1～3 学年	出前体験	61
8/29	根城小学校 6 学年	見学・体験	97	10/31	是川小学校 4 学年	見学・体験	33
9/1	明治中学校 1 学年	見学・体験	20	11/2	桔梗野小学校 5 学年	見学	7
9/1	旭ヶ丘小学校 3・4 学年	見学	118	11/10	長者小学校 6 学年	見学・体験	62
9/6	高館小学校 5・6 学年	見学・体験	49	11/16	白銀南小学校 6 学年	見学・体験	80
9/7	鮫中学校 1 学年	見学・体験	39	11/16	柏崎小学校 6 学年	見学・体験	89
9/8	是川小学校 5 学年	見学・体験	17	11/17	新井田小学校 5 学年	見学	5
9/12	是川小学校 6 学年	見学・体験	28	12/15	多賀台小学校 6 学年	見学・体験	32
9/15	是川小学校 2 学年	体験	19	2/16	江陽小学校 6 学年	見学・体験	35
9/20	是川小学校 3 学年	体験	22	3/6	白鷗小学校 6 学年	見学・体験	49

○修学旅行利用状況

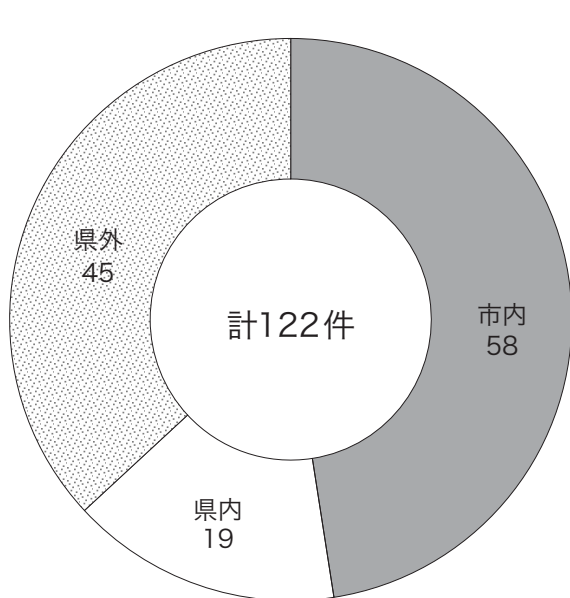
令和 5 年度は、以下の表のとおり修学旅行先として 1 校 10 人の利用があった。

入館日	学校名	内容	人数
7/7	岩手県立釜石祥雲支援学校	見学	10

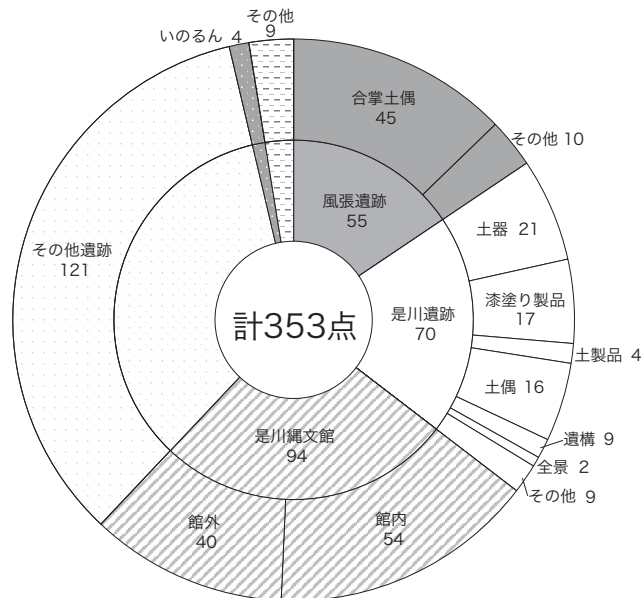
5. 資料利用状況

(1) 画像資料

令和5年度は、申請数 122 件、合計 353 点の利用申請があった。前年と比べ件数、点数ともに減少した。今年度の申請者は市内が最多となった。利用目的では、書籍等への掲載のほか、テレビ利用や個人の SNS への掲載等がある。また、世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」HP 内、縄文アーカイブからの画像利用は 14 件あった。



映像資料利用依頼先内訳



資料利用種別内訳

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
1	秋田県立美術館	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	4/6	特別展「縄文 小川忠博写真展」写真パネル
2	Z会	中居遺跡 遮光器土偶ほか	2	写真貸与	4/6	通信教育教材 中学受験コース 5年社会6月
3	(株)NHK エデュケーショナル	中居遺跡 遮光器土偶	1	写真貸与	4/12	「NHK 高校講座 日本史 第1回『原始社会の生活と文化』」再放送
4	松戸市博物館	中居遺跡 鉢形土器ほか	2	写真貸与	4/19	令和5年度館蔵資料展「ときどきテクノロジー」の展示パネル
5	ABC アーク	中居遺跡 遮光器土偶ほか	4	写真貸与	4/20	月刊『歴史人』2023年7月号への掲載・付録シールの作成
6	著作権利用等に係る教育 NPO	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	4/19	清泉女学院中学校 2023 年度入試問題の学校説明会等での配布・学校 HP
7	姉妹都市フェデラルウェイ 市長一行視察	常設展示室及び展示品	1	写真・映像撮影	4/27	姉妹都市フェデラルウェイ市長一行視察記録
8	(株)JTB パブリッシング	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	5/17	JR 東日本ホテルズ「ARUKU EAST」
9	(株)みくに出版	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5/17	入試問題の一部に使用
10	(有)うえいくあつぷらんど	風張 1 遺跡 深鉢形土器	1	写真貸与	5/30	NHK BS プレミアム「美の壺・市松模様」
11	青森朝日放送	常設展示室及び展示品ほか	1	写真・映像撮影	5/31	番組「ハレのちあした」フリートークで使用
12	八戸市こども支援センター	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	6/2	縄文新聞、文化祭掲示
13	苫小牧市美術博物館	石手洗遺跡 深鉢形土器ほか	4	写真貸与	6/2	特別展「縄文×現代 ～共鳴する美のかたち」広報関係で掲載
14	(株)福音館書店 たくさんのふしぎ	中居遺跡 遮光器土偶ほか	1	写真貸与	6/6	「月刊たくさんのふしぎ」2023年10月号「色」ハードカバー「たくさんのふしぎ傑作集」
15	中体連事務局	いのるん	1	写真貸与	6/16	看板に使用
16	三内丸山遺跡センター	中居遺跡 弓ほか	2	写真貸与	6/14	特別展「三内丸山と漆」における図録等広報物
17	社会福祉法人 平成会	是川縄文館外観ほか	2	写真・映像撮影	6/14	施設広報誌

令和5年度資料利用依頼一覧(1)

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
18	バブーン (株)	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	6/16	「みんな大好き！遮光器土偶 FANBOOK」
19	八戸聖ウルスラ学院高等学校	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	6/15	学校 SNS に掲載
20	個人	中居遺跡 弓ほか	5	写真貸与	6/17	「Ancient Japan. Hunter-gatherers in Heian (from -36,000 to the year one thousand)」
21	カスタネット	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	6/6	八戸紹介ビデオの撮影
22	野口写真館	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	6/9	卒業アルバム用
23	個人	中居遺跡 壺形土器ほか	11	写真貸与	6/14	書籍『日本における覆い焼きの成立と展開』(仮)
24	特定非営利活動法人 著作権等に係る教育 NPO	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	6/15	中学校入試問題に使用
25	(株) 八戸テレビ放送	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	6/21	「カルチャースポットはちのへ」
26	青い森鉄道 (株)	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	6/24	リーフレット「駅から行く 世界遺産 縄文遺跡と沿線観光モデルコース (東北町・七戸町・八戸市コース版)」
27	古小烏舎	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	6/30	書籍『縄文の断片』(仮)
28	成田サービス	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	6/30	商品販売 (メモパット)
29	個人	常設展示室及び展示品	1	写真・映像撮影	6/27	弓の研究
30	(有) スタジオ大島	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	6/27	卒業アルバム撮影
31	八戸市美術館	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	6/29	はちとまネットワーク文化施設 PR 動画
32	(株) 悠工房	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7/4	四谷大塚出版発行「予習シリーズ6年下 社会」
33	ABC アーク	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7/6	『親子で読める！歴史を遊びながら学べる 歴史人 kids』
34	(株) グランフォート	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	7/6	三条小学校卒業アルバム
35	(株) 金入	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	7/13	アクリル商品製作 (商用)
36	WAC (株)	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	7/4	BS フジ ガリレオ X による取材
37	公益財団法人福島市振興公社	風張1遺跡 合掌土偶出土状況ほか	3	写真貸与	7/18	エントランス企画展「縄文時代後期の文化としゃがむ土偶をとりまく社会」展示解説パネル及び会場配布資料、広報
38	カスタネット	常設展示室及び展示品	1	写真・映像撮影	7/14	市の観光 PR
39	生活協同組合コープあおもり	常設展示室及び展示品	1	写真・映像撮影	7/14	広報誌「はばたき」掲載のため、HP・Facebook
40	新光印刷 (株)	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7/21	青森県私立幼稚園連合会 大会プログラム冊子の表紙
41	(有) スタジオ大島	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	7/13	卒業アルバム
42	カスタネット	常設展示室及び展示品	1	写真・映像撮影	7/13	観光 PR
43	八戸高等学校	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	7/20	総合的な活動の一環での取材・PR 動画
44	青森県庁	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	7/21	取材・撮影
45	ABC アーク	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真・映像撮影	7/6	『親子で読める！歴史を遊びながら学べる 歴史人 kids』
46	東奥日報社	特別展示室及び展示品	1	写真・映像撮影	7/23	日刊紙「東奥日報」掲載 (令和5年7月25日以降掲載)
47	(株) ティーヴィーボックス	中居遺跡 藍胎漆器	1	写真貸与	8/4	テレビ東京「世界！日本行きたい人応援団」
48	VISIT はちのへ	国宝展示室	1	写真・映像撮影	8/5	中国 SNS で発信する素材の撮影
49	(株) スタジオタッククリエイティブ	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	4	写真貸与	8/30	書籍「楽しく学べる歴史図鑑 土偶」
50	八戸商業高等学校	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	8/27	文書デザインコンテスト
51	(有) スタジオ大島	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	8/29	根城小学校 卒業アルバム用撮影
52	東奥アドシステム	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	8/31	東奥日報「女子マル」新聞掲載
53	ハッピー保育園	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	9/1	園児のアルバム
54	八戸市総合教育センター	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	9/1	八戸市総合教育センターブログ (9月8日アップ予定)

令和5年度資料利用依頼一覧 (2)

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
55	八戸市博物館	牛ヶ沢(4)遺跡 沖附2式土器ほか	5	写真貸与	9/7	開館40周年記念秋季特別展「J-mode 縄文の流儀」
56	外ヶ浜町教育委員会	田向冷水遺跡出土石器写真	1	写真貸与	9/7	展示パネル
57	青森県埋蔵文化財調査センター	縄文時代草創期・早期遺跡分布ほか	26	写真貸与	9/12	「地元の縄文」再発見フェア in さんばち配布レジュメ
58	(株) エヌリンクス	是川縄文館外観	1	写真貸与	9/12	「引っ越しまとめ.com」
59	(有) スタジオ大島	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	9/6	アルバム使用
60	カメラの和弘	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	9/7	鯨中学校写真撮影
61	(株) CURIOUS PRODUCTIONS	中居遺跡木胎漆器ほか	4	写真貸与	9/20	NHKE テレビ番組「すてきにハンドメイド」で使用
62	三八地区高等学校長協会	是川中居遺跡 遮光器土偶ほか	5	写真貸与	10/7	青森県高等学校長協会秋季研修会教育懇談会「しおり」
63	(株) スタジオタッククリエイティブ	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与	9/29	書籍「楽しく学べる歴史図鑑 土偶」(仮題)
64	デーリー東北新聞社	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10/3	第85回全国都市問題会議 開催特集号 八戸市の紹介ページ
65	スタジオ大島	是川縄文館外観ほか	2	写真・映像撮影	9/22	城下小学校卒業アルバム用撮影のため
66	洋野町立角浜小学校5・6学年	是川縄文館外観ほか	2	写真・映像撮影	9/29	アルバム利用のため
67	千葉学園高等学校	是川中居遺跡 皿形土器ほか	5	写真貸与	10/11	「10月22日はちのへホコテン高校生企画」における「縄文ファッションショー」プレゼンテーション資料
68	青森第一養護学校	常設展示室	1	写真・映像撮影	10/5	社会見学の事後学習
69	東奥日報八戸支社	企画展示室	1	写真・映像撮影	10/7	東奥日報紙面掲載(2023.10.9から1週間)
70	ツクイ八戸江陽	常設展示室ほか	2	写真・映像撮影	10/8	デイサービス内の月1の会報誌
71	八戸郵便局	いのるん	1	写真貸与	10/12	「ご当地キャラに応援の年賀状を書こう!」パンフレット
72	(有) うえいくあつぷらんど	風張1遺跡 深鉢形土器	1	写真貸与	10/17	NHKBS プレミアム、4K、Eテレ「美の壺・市松模様」
73	(株) TBS スパークル	常設展示室ほか	3	写真・映像撮影	10/11	「北海道・北東北縄文遺跡群」ガイダンス映像撮影
74	仙台市教育委員会文化財課	是川中居遺跡 土器	1	写真貸与	10/18	第78回文化財展における展示パネル
75	JR 東日本(株) 八戸駅	常設展示室ほか	2	写真・映像撮影	10/17	撮影のため
76	山川出版	一王寺貝塚	1	写真貸与	10/16	書籍『列島の人々は火山災害にどのように向き合ってきたのか』
77	NHK	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10/17	番組「フロンティア 日本人のルーツ」で再放送
78	デーリー東北新聞社	国宝展示室ほか	2	写真・映像撮影	10/24	八戸港 PR 動画撮影
79	デーリー東北新聞社	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10/24	「土偶を読むを読む」の紹介記事
80	奈良文化財研究所	風張1遺跡 第72土坑墓ほか	2	写真貸与	10/24	「海外から見た日本考古学の魅力」
81	八戸市博物館	田向冷水遺跡ほか	102	写真貸与	10/31	開館40周年記念秋季特別展「J-mode 縄文の流儀」
82	おいらせ町教育委員会	海と火山と縄文人 映像資料	2	写真貸与	10/31	季節展「おいらせ町の縄文展」映像放映及びパネル展示
83	(株) パンエイト	是川中居遺跡 藍胎漆器	1	写真貸与	10/31	番組で紹介する際のイメージ画像
84	gallery KELAN	常設展示室	1	写真・映像撮影	11/1	本のプロジェクト「かごを編む 鳥越のすず竹細工と共に柴田恵」
85	二戸市役所	常設展示室ほか	2	写真・映像撮影	11/4	広報への
86	東日本旅客鉄道(株)	いのるん	1	写真・映像撮影	11/18	北東北縄文遺跡群 PR 活動
87	(株) グランフォート	常設展示室ほか	2	写真・映像撮影	11/10	卒業アルバム
88	(株) 青森テレビ	常設展示室ほか	2	写真・映像撮影	11/8	わっち 走街ちゃり日和(令和5年11月22日放送予定)
89	山川出版社	風張1遺跡 深鉢形土器	1	写真貸与	11/14	書籍『Japanese History for Highschool / 英文詳説日本史』
90	(株) 日企	中居遺跡 藍胎漆器	1	写真貸与	11/15	番組「明日への扉」
91	国際芸術センター青森	常設展示室ほか	2	写真・映像撮影	11/15	展覧会出品作品制作
92	カメラのコーエン	常設展示室ほか	2	写真・映像撮影	11/16	柏崎小学校卒業アルバム

令和5年度資料利用依頼一覧(3)

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
93	(株) グランフォート	常設展示室ほか	2	写真・映像撮影	11/17	名川小社会科見学
94	八戸北高等学校地学部	常設展示室	1	写真・映像撮影	11/18	部活動の記録
95	東北町教育委員会	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11/22	小学校 3, 4 学年の社会科の学習における調べる際の資料
96	八戸建設業協会	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	11/29	年賀はがき
97	(株) サイバー・ネット・コミュニケーションズ	中居遺跡 磨製石斧ほか	3	写真貸与	11/29	小学校社会科資料集、及び授業中の大型掲示板
98	Aerospase NewsAgency Sapporo	中居遺跡 漆塗り注口土器ほか	2	写真貸与	11/28	・アイヌ文様と縄文土器文様・装飾古墳文様の類似性の研究 ・団体内機関紙・ホームページで使用
99	(株) プラネットライツ	是川縄文館外観ほか	5	写真貸与	12/19	時空旅人 vol.78 2024 年 3 月号「平泉」
100	東京書籍 (株)	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12/20	小学校デジタル教科書・教材「新編 新しい社会 6 学年歴史編」
101	個人	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	12/20	刊行予定の書籍に掲載するため
102	グラフ青森	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与	12/21	AOMORI GOKAN 公式アートフェス公式ガイドブック
103	(株) アフロ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12/12	株式会社文理発行の小学生を対象とした学習教材
104	(有) どんぐり・はうす	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12/12	ガイドブック『地球の歩き方ムー JAPAN』の先史時代の国宝特集
105	個人	中居遺跡 篋形木製品	1	写真貸与	1/7	書籍『にはんのうた』
106	グラフ青森	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与	1/14	AOMORI GOKAN 公式アートフェス公式 HP
107	(株) 敬文舎	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/17	『縄文人の生活世界』(安斎正人著、2015 年 5 月 19 日発刊) を、 大学図書館向けの電子書籍配信サービス「eBook Library」(丸 善雄松堂) で配信するため
108	長根屋内スケート場	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/24	スピードスケート国際大会プログラム 八戸観光ページ
109	(株) めでいあ森	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真・映像撮影	1/24	書籍『国宝探訪 楽しさは無限大』
110	クラブツーリズム	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	2/17	旅行商品の販売パンフレット
111	(株) 新泉社	イモガイ状土製品	2	写真貸与	2/9	『貝輪の考古学ー日本列島先史時代におけるオオツタノハ製貝輪 の研究ー』に使用
112	洋野町教育委員会	常設展示室ほか	2	写真・映像撮影	2/11	洋野町青少年交流事業記録
113	デーリー東北新聞社	是川石器時代遺跡	1	写真貸与	2/22	八戸港 PR 動画
114	(株) 共同通信社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	2/22	文化庁編「発掘された日本列島 2024」図録
115	クラブツーリズム関西テーマ旅行センター	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	2/22	ツアー募集媒体
116	(株) Z 会	中居遺跡 遮光器土偶ほか	2	写真貸与	3/6	通信教育教材 中学受験コース 5 年社会 6 月
117	(株) 吉川弘文館	中居遺跡 つる製品	1	写真貸与	3/7	書籍『Q&A で学ぶ縄文時代入門』
118	写真工房おすか	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	3/10	ポストカード、シャープペンシル、ボールペン制作
119	(株) ミュージアムビック	是川縄文館外観	1	写真貸与	3/12	ウェブサイト「ミュージアムビック」
120	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	是川縄文館館内	1	写真貸与	3/12	調査研究報告書に掲載するため
121	個人	是川縄文館外観ほか	2	写真・映像撮影	3/16	YouTube チャンネル Maniac Japan Travel
122	(株) エヂカラ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶 ほか	3	写真貸与	3/26	テレ東「昼めし旅」再放送

令和 5 年度資料利用依頼一覧 (4)

(2) 実物資料

令和 5 年度は合計 10 件の貸出を許可した。

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
1	八戸市博物館	中居遺跡出土 弥生土器甕ほか 計 46 点	R5.4.1 ~ R6.3.31	八戸博物館常設展示
2	苫小牧市美術博物館	一王寺遺跡出土 土偶ほか 計 8 点	R5. 7.1 ~ R5.9.20	特別展「縄文と現代～共鳴する美のかたち」
3	明治大学資源利用史研究 クラスター 阿部 芳郎 氏	中居遺跡 鉢形土器 1 点 (同一個体 3 片)	R5.6.25 ~ R6.3.31	青森県域における縄文土器製塩の研究のため
4	三内丸山遺跡センター	中居遺跡出土 朱容器ほか 計 3 点	R5.7.16 ~ R5.10.20	特別展「三内丸山と漆」における資料の展示のため
5	じょーもぴあ宮畑	国宝 合掌土偶レプリカほか 計 5 点	R5.8.31 ~ R5.12.15	企画展「しゃがむ土偶が使われた頃の社会」における展示のため
6	八戸市博物館	堀田遺跡 出土品ほか 計 97 点	R5.9.23 ~ R5.12.22	開館 40 周年記念秋季特別展「J-mode 縄文の流儀」における展示のため
7	弘前大学	一王寺遺跡出土 骨角器 計 77 点	R5.10.14 ~ R5.1.12	「縄文海進期における食料獲得技術の研究」における調査のため
8	新潟大学考古学研究室	田向冷水遺跡出土 黒曜石製石器 計 87 点	R5.12.17 ~ R6.1.27	田向冷水遺跡出土黒曜石製石器の原産地分析のため
9	八戸市博物館	新井田古館遺跡、館平遺跡、田向遺跡出土品 計 339 点	R6.1.16 ~ R7.3.31	根城跡本丸主殿内の展示改修に係る比較検討をするため
10	金沢大学古代文明・文化 資源学研究所客員教授 藤田 尚 氏	新井田古館遺跡出土人骨の歯 計 22 点	R5.4.1 ~ R7.3.31	古 DNA の抽出及び分析による当時の人びとの婚姻形態、婚姻圏分析のため

令和 5 年度実物資料貸出一覧

6. 資料収蔵

(1) 収蔵対象

是川縄文館では、八戸市内の遺跡から発掘調査等によって出土した遺物や、写真・図面等の調査記録、関連図書の収集・収蔵・保管を実施している。また、是川縄文の里整備事業において活用するため、漆器生産等に関連する民族・民俗資料も収蔵対象としている。

(2) 出土遺物等

出土遺物等については、平成元年度以降に八戸市教育委員会が実施した発掘調査によって出土した資料のほか、寄贈品等を収蔵している。収蔵施設には特別収蔵庫及び一般収蔵庫がある。特別収

蔵庫には重要文化財、保存処理が完了した木製品・金属製品等の約 700 点を収蔵している。一般収蔵庫にはそのほかの土器、石器、土製品、石製品等が約 3,000 箱収蔵されている。収蔵庫内は資料を適切な状態で保管するため、常時温湿度管理を行っており、消火設備を備えている。資料は掲載されている調査報告書の図版ごとに平箱に収納している。

令和 5 年度は発掘調査で出土した遺物のうち、整理作業が終了した 145 点、11 箱を新たに収蔵した。

(3) 写真・図面等

写真・図面等の調査現場における記録のほか、整理作業の過程で作成された遺物実測図等は調査記録保管室で収蔵保管している。八戸市教育委員会の発掘調査では、これまで記録保存の手段として35mm フィルムの使用を必須としていたが、メーカーの製造数減少を受けて、今後の安定的な入手が困難と判断し、フルサイズ一眼レフデジタルカメラのみでの記録を行っている。

(4) 図書

図書については、59,294 冊を所蔵している。各地の地方自治体等が刊行している発掘調査報告書等の考古学・歴史学に関連する図書が大半を占める。蔵書の内 24,243 冊は故・江坂輝彌氏による寄贈図書である。江坂図書は学史上重要な文献から外

国語文献に至るまで多岐にわたる資料を含んでおり、調査・研究に活用されている。図書は書庫・研究室に収蔵されているほか、一部は閲覧コーナーにおいて一般開放している。

令和 5 年度は 1,539 冊（うち寄贈 1,491 冊、購入 48 冊）を新たに追加した。

(5) データベース

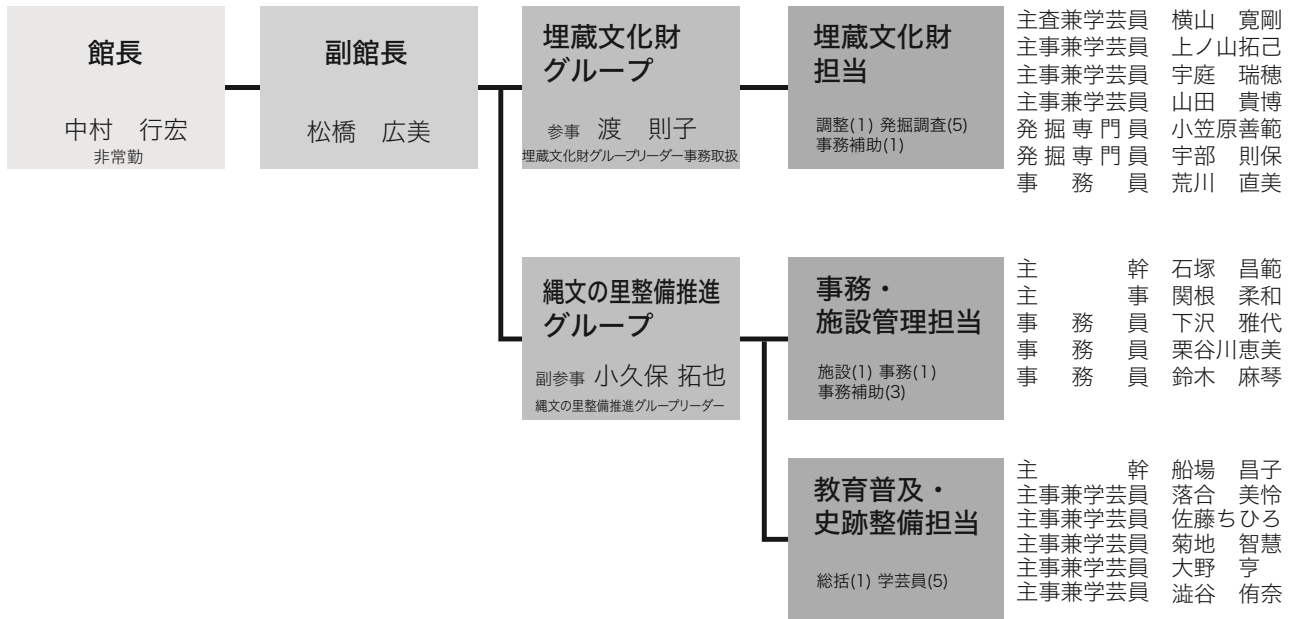
是川縄文館データベースは、遺跡・図書・収蔵資料に関するデータをクラウド型データベースに格納した。現在、遺跡 491 件、図書 59,294 件、資料 45,929 件など全 105,833 件の情報を格納して運用している。

7. 予算概要 ※当初予算額を示す。職員人件費は含まない。

予算内容		予算額 (円)
運営経費		108,086,000
《内訳》	施設維持管理経費	80,552,000
	一般管理事務経費	27,534,000
特別展・体験事業等開催事業費		26,000,000
《内訳》	特別展経費	10,046,000
	企画展経費	5,527,000
	共同研究経費	1,332,000
	教育普及経費	966,000
	資料調査経費	326,000
	その他	7,803,000
是川縄文の里整備事業費		96,546,000
世界遺産登録 PR 事業		3,575,000
発掘調査事業費		85,993,000
《内訳》	八戸市内遺跡発掘調査事業費	53,633,000
	八戸城跡発掘調査事業費	12,900,000
	八戸市内遺跡発掘調査事業費（雷遺跡）	16,414,000
	文化財調査管理事務経費	3,046,000
埋蔵文化財保存活用費		11,515,000
《内訳》	埋蔵文化財活用活性化事業費	6,640,000
	是川遺跡出土品保存修理事業費	4,875,000
合 計		331,715,000

VII 組織・関係団体

1. 組織及び職員構成



2. 八戸縄文保存協会

【設立年】平成 7 年 【会員数】134 名（法人会員含む）

【目的・活動】

縄文文化の重要性を認識し、縄文遺跡及びその出土品の保存に協力するとともに、その活用を図り、もって地域文化・経済の振興に寄与することを目的に発足。当協会では、目的を達成するために次の事業を行う。

- ①縄文文化についての研修
- ②是川縄文館に関連する事業への協力
- ③縄文是川ボランティアへの支援
- ④縄文遺跡及びその出土品等の宣伝紹介
- ⑤文化財保護思想の啓蒙等

さらに、是川縄文館内でミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」を運営し、来館者の利便性の向上を図っている。

このほか、8月には4年ぶりの開催となる「第25回これかわ縄文まつり」を是川縄文館のみを会場として初めて開催し、弓矢体験や縄文土器・土偶作り、火起こし等の縄文体験、縄文の里を歩こう会といったイベントと各種ステージの企画・実施を通じ、縄文遺跡の魅力について広く普及啓発を図っているほか、地域の活性化に寄与している。

8月から9月にかけては「第八回是川縄文の里俳句大会」を開催した。俳句大会では学生の部と一般の部あわせて759作品の応募があり、その中から優秀な作品を選考し、縄文館内で表彰を行った。

そのほか、当協会は「北の縄文文化回廊づくり推進協議会」に加盟し、縄文遺跡群の世界文化遺産に係る普及啓発を行っている。



俳句大会表彰式

3. 縄文是川ボランティア

【設立年】平成 8 年 【会員数】39 名

【目的・活動】

是川遺跡及びその出土品をはじめ縄文時代の調査・研究の成果を活用して、八戸市の縄文遺跡や縄文文化の素晴らしさを市民に伝え、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の教育普及活動を支援することを目的とし、下記の活動を行っている。

- ①縄文体験コーナー
- ②土曜日体験教室
- ③グループ・団体の体験学習の指導
- ④縄文土器野焼き
- ⑤学校・公民館等での体験学習の指導
- ⑥研究・研修・学習会
- ⑦是川縄文館本館の展示室や是川遺跡のガイド

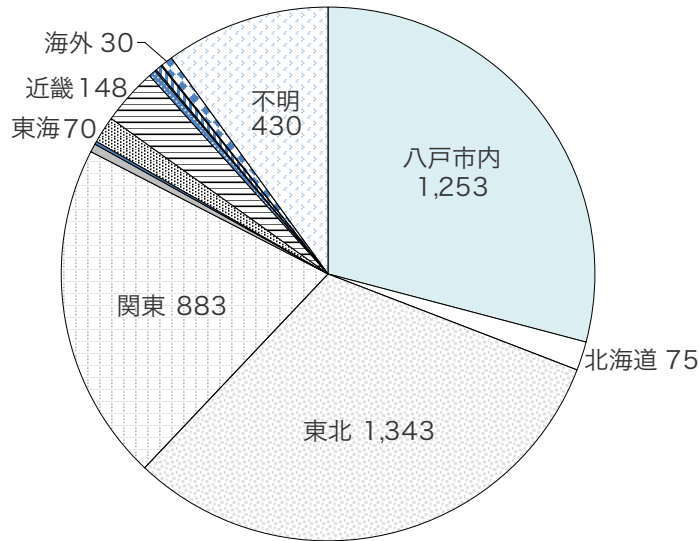
【活動実績】※体験学習指導の詳細については、Ⅲ-3 教育普及の実績、Ⅵ-2 日記抄を参照されたい。



サポートスタッフ研修会の様子

月	開館 日数	延人数	一日平 均人数
4	27	197	7
5	27	241	9
6	26	253	10
7	29	302	10
8	30	242	8
9	26	244	9
10	26	245	9
11	25	237	9
12	22	142	6
1	23	194	8
2	25	231	9
3	26	223	9
計	312	2,751	9

縄文是川ボランティア
活動人数



縄文是川ボランティア展示解説 地方別利用状況
※縄文是川ボランティアの聞き取りにより把握

利 用 案 内

○開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

○観覧料

区 分	個 人	団 体
一般	250 円	130 円
大学生・高校生	150 円	80 円
中学生以下	無料	

※市内65歳以上、障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者1名は半額。特別展は料金が変わります。

○休館日 毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は開館）
祝日・振替休日の翌日（土・日曜日、祝日の場合は翌日）
年末年始（12月27日～1月4日）
※上記以外の臨時開館・臨時休館があります。

○交 通 バス：JR八戸駅東口4から土日祝日のみ南部バスで約25分
ラピアバスターミナルから南部バス（J42）で約25分
中心街バスターミナル3（中央通）から南部バスで約20分
自動車：八戸自動車道・八戸ICから約10分、
八戸久慈自動車道・八戸是川ICから約5分
タクシー：JR八戸駅東口より約15分 ※距離：約8km 料金：約3,000円

○駐車場 普通車86台 大型バス6台 障がい者用3台

○所在地 青森県八戸市大字是川字横山1 TEL：0178-38-9511 FAX：0178-96-5392

○ホームページ <https://www.korekawa-jomon.jp/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
年 報
第 13 号 -令和 5 年度-

発 行 日 2024 年 6 月 21 日
編 集 ・ 発 行 八 戸 市 教 育 委 員 会
八 戸 市 埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー 是 川 縄 文 館
〒 031-0023 青 森 県 八 戸 市 大 字 是 川 字 横 山 1
TEL 0178 (38) 9511 FAX 0178 (96) 5392
印 刷 株 式 会 社 オ ダ プ リ ン ト
〒 039-2245 八 戸 市 北 イ ン タ ー 工 業 団 地 3 丁 目 2-10
TEL 0178 (21) 2711 FAX 0178 (21) 2720